

フー

据付工事説明書（簡易版）

foo

【fú:】

HEADCAP TATSUPINNEJI 3.5 × 30



HEADCAP MOKUNEJI 4.5 × 50



SARA TATSUPINNEJI 3.5 × 16



SARA TATSUPINNEJI 3.5 × 16 - D 6



SARA TATSUPINNEJI 3.5 × 23



SARA TATSUPINNEJI 3.5 × 30



SARA TATSUPINNEJI 3.5 × 35



BAINDO KONEJI M 4 × 12



BAINDO TATSUPINNEJI 3.5 × 16



BAINDO TATSUPINNEJI 3.5 × 25



BAINDO TATSUPINNEJI 3.5 × 30



・安全上のご注意	1~2
・据付け前の確認	2
・標準施工図	3
・ユニット構成図	4
・据付工事作業手順	5

【キッチンパーツの据付工事】

・ウォールユニットの取付け	7
・フロアユニットの取付け	8
・ワークトップの取付け / 配管前の準備 / リカバリータンクの取付け	9
・調理機器用トップの取付け / 両面カウンターの取付け	10
・エンドスペーサーの取付け	11
・フィルターの取付け / エンドパネルの取付け	12
・コーナータンスペーサーの取付け / ダストカンの取付け	13
・調理機器バックパネルの取付け	14
・パイプラックパーツの取付け	15
・パイプラックパーツの取付け【コーナー用】	16
・照明器具・照明カバー【アルミ製】の取付け	17
・人工大理石【アクアストーン】【カームストーン】天板の取付け	18
・人工大理石【アクアストーン】【カームストーン】接合部の仕上げおよび補修方法	19
・加熱機器設置前の準備（人工大理石ワークトップの場合）	20
・オプションパーツの取付け位置	20~21

【収納パーツの据付工事】

・据付けスペースの確認・付属工具	23
・収納ユニット本体の組立て 1	24
2	25
3	26
4	27
5	28
・中板の取付け / 丁番座金の取付け	29
・収納ユニット本体の調整・キャップ類の取付け	30
・収納ユニット本体の固定	31
・棚板の取付け / ガラス扉の把手の取付け	32
・丁番の取付け	33
・扉（丁番）・引出し前板の調整方法	34
・天井幕板の取付け 1	35
2	36
・アジャスター、ケコミ板の取付け	37~38
・据付け後の点検・清掃・養生	39



ここに記載されていない商品は、別途の据付工事説明書に従って正しく据付けてください。

安全上のご注意



必ずお守りください

据付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく据付けてください。

表示内容を見逃して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

据付工事完了後、説明書の内容に従って試運転および各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。

本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、据付工事完了後、お引き渡し時にお客様へお渡ししてください。

警告

ステンレス製ワークトップやステンレスフードを取り扱う時は、必ず保護手袋をしてください。



切断面に触ると、ケガをする恐れがあります。

ウォールユニット、収納ユニットおよびその他のキッチンパーツの据付けは、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。



落下して、ケガをする恐れがあります。

電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



火災、感電、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

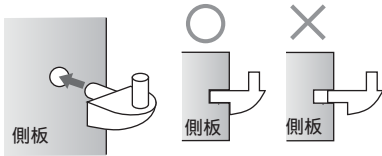
⚠ 注意

収納ユニットは、必ず壁面に固定してください。



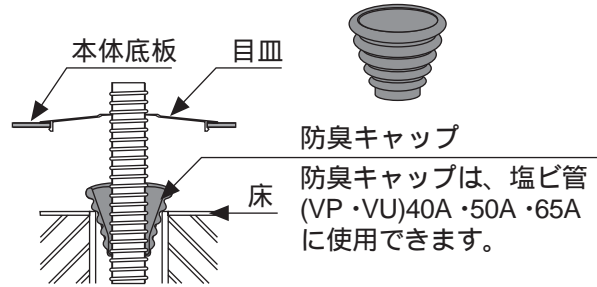
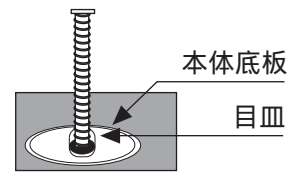
転倒してケガをする恐れがあります。

棚板を設置する時は、棚受け（ダボ）をすきまのないよう根元まで確実に差し込んでください。



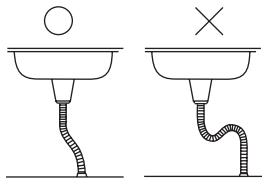
棚板が外れ、収納物が落下してケガをする恐れがあります。

排水器具・排水ホースの取付けおよび給排水管の接続部分のシールは確実に行ってください。



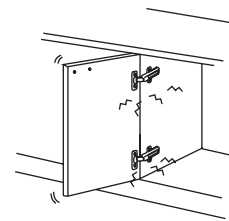
水が漏れたり、湿気が上がり床等が腐る恐れがあります。

排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けしないでください。



排水能力が低下してシンクから水があふれ、床を汚す恐れがあります。

工事完了後は、扉のがたつきや丁番のゆるみの無いことを必ず確認してください。



使用中に扉が落下して、ケガをする恐れがあります。

組み込まれる電気機器・水栓等については、それぞれの施工説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。

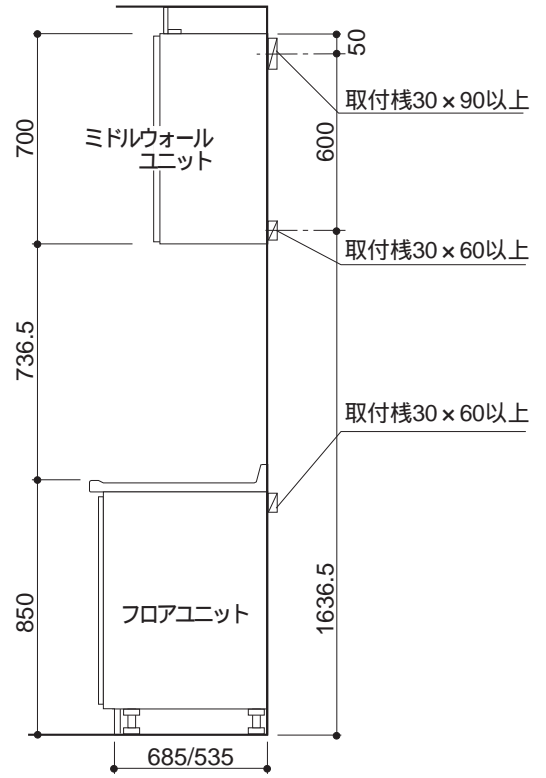
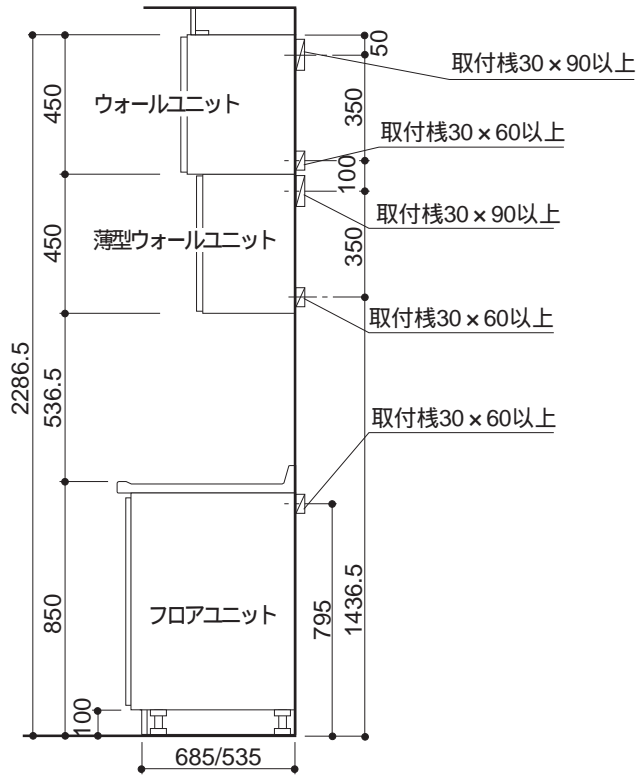


思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

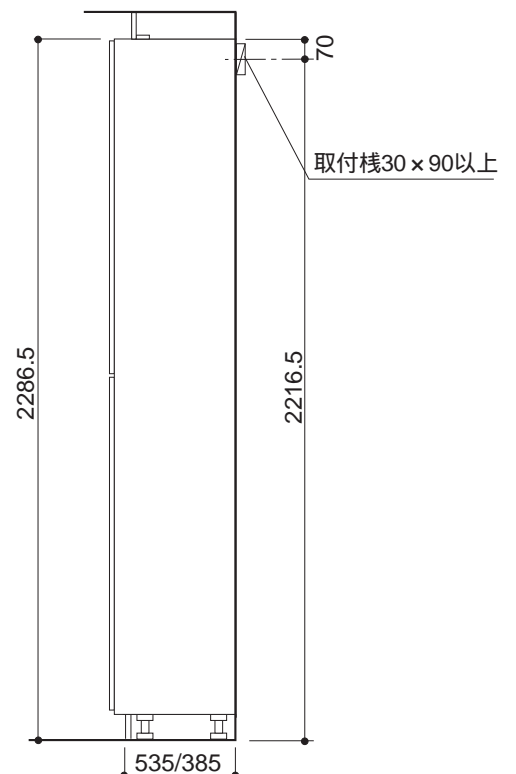
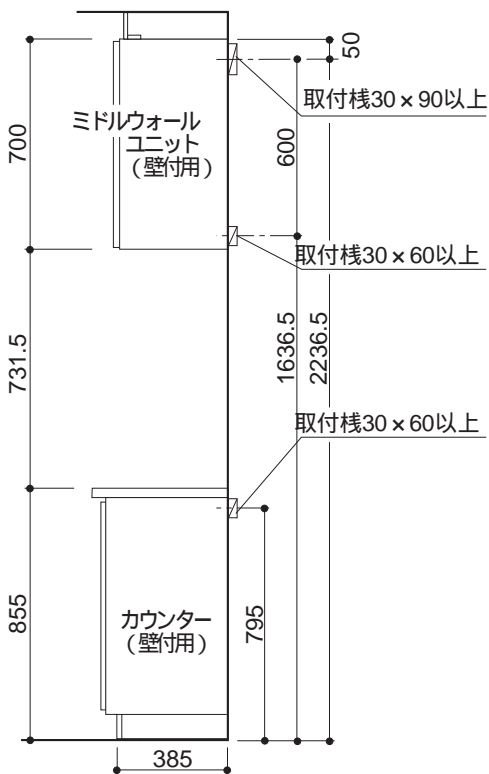
据付け前の確認

- ① 注文した製品が、納入されているか確認してください。
- ② 配管・配線・補強棧の確認
 - ・施工図および指示通りに、給水・給湯管、排水管、ガス管、および各機器の電気配線、換気口等が施工されているか確認してください。
 - ・壁面の取付位置に、取付棧があることを確認してください。また、天井吊りする場合は、天井の強度を確認してください。
 - ・壁の直角、垂直、床の水平レベルを確認してください。

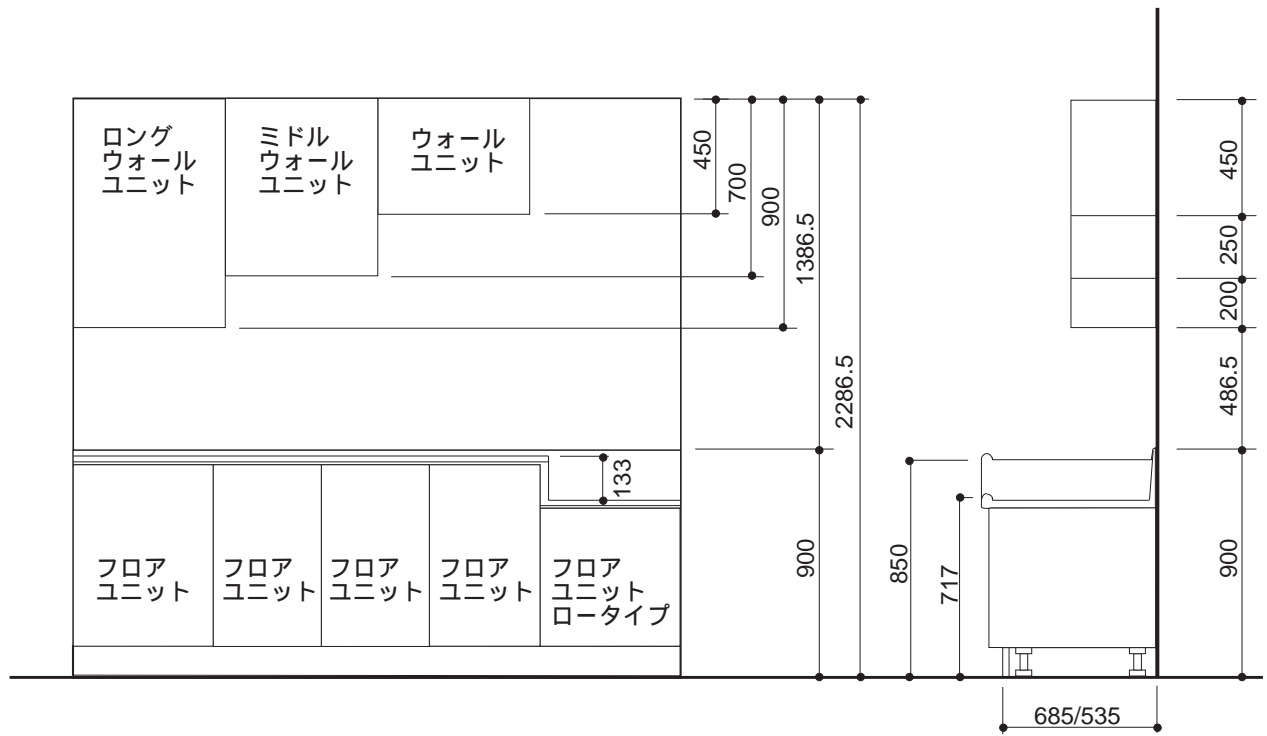
キッチンパーツ部



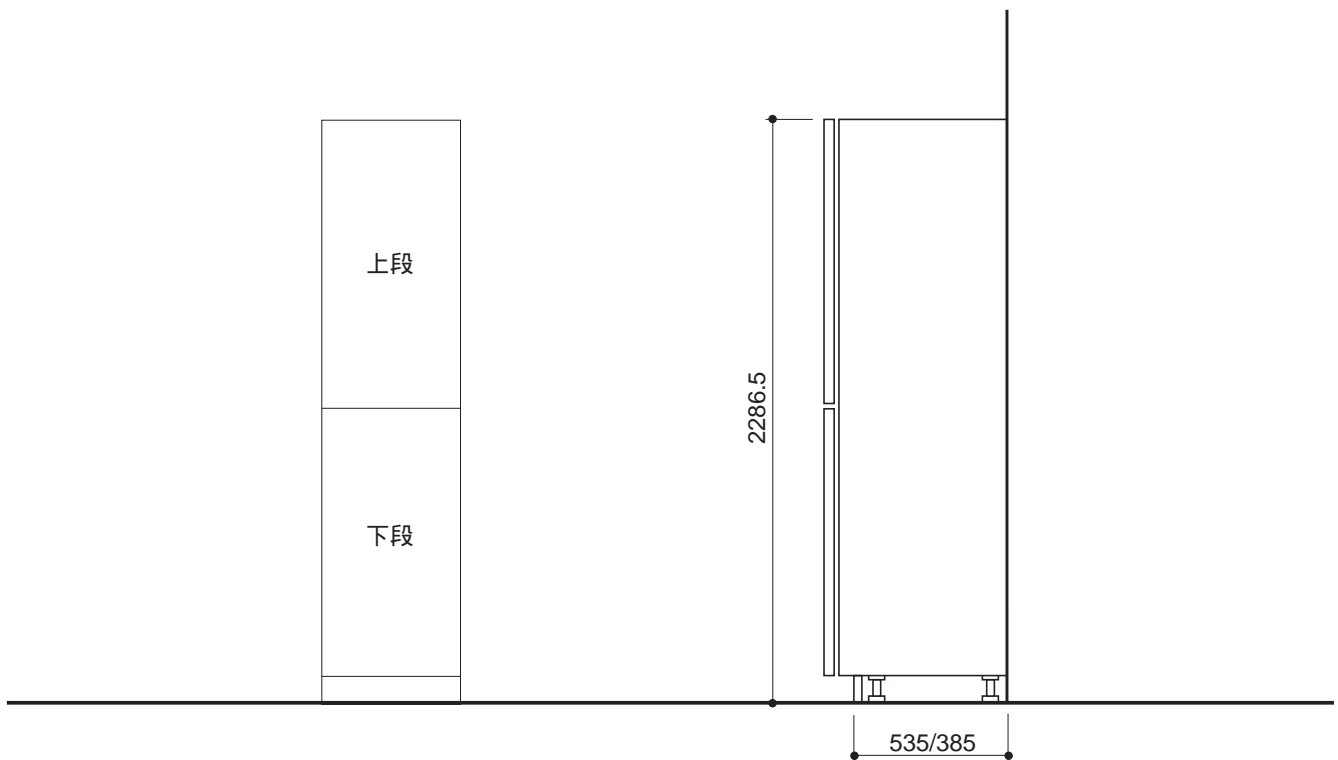
収納パーツ部



キッチンフロア・ウォールユニット



収納ユニット



キッチンパーツ 据付工事作業手順

- ・据付面のレベル出しを行う。
- ・壁の背面、側面に対し、下げ振りによりレベル出しを行う。
(水平、垂直、壁の倒れをパッキン材で補正する。)
- ・床面に対してもレベル出しを行い、一番高い所をチェックし、そこを基準で壁背面にフロアユニットの間口分に対し、H=820の墨出しを行う。
(これがすべての取付け基準になる。)
- ・L型についても入隅のカネ出し(直角)を十分にチェックする。
尚、壁背面側面はあらかじめ、9mm以上のコンパネ貼りをしておくのが望ましい。

ウォールユニットの取付け P 7を参照

レンジフードの取付け

(ステンレス壁面パネルがない場合は、ウォールユニットから
取付け、ある場合はフロアユニットから取付けをする。)

フロアユニットの取付け P 8を参照

ワークトップの取付け P 9を参照

調理機器用トップ・その他カウンター等の取付け P 10を参照

スペーサー・フィラーの取付け P 11~P 13を参照

エンドパネルの取付け

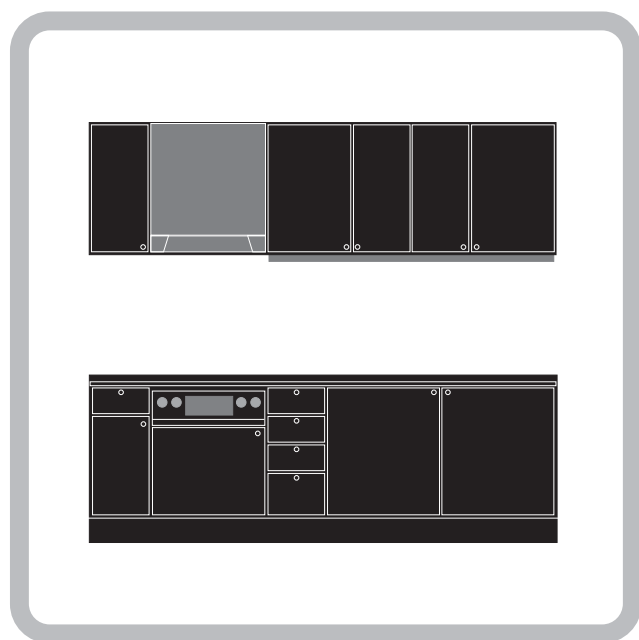
オプションの取付け

天井幕板・ケコミ板の取付け P 35~P 38を参照

収納ユニット 据付工事作業手順(作業標準)

- ・据付面のレベル出しを行う。
 - ・壁の背面、側面に対し、下げ振りによりレベル出しを行う。
(水平、垂直、壁の倒れをパッキン材で補正する。)
 - ・床面に対してもレベル出しを行い、一番高い所をチェックし、そこを基準で壁背面に据付けを行う。(キッチンと並ぶ場合は、キッチンに合わせる。)
 - ・L型についても入隅のカネ出し(直角)を十分にチェックする。
尚、壁背面側面はあらかじめ、9mm以上のコンパネ貼りをしておくのが望ましい。
- 据付けスペースの確認と付属工具のチェック P 23を参照
- 収納ユニットの組立て P 24~P 28を参照
- ・ミニフィックスボルトを使用し、左側の側板、底板、背板、天板の順に組立てていく。
- 中板の取付け P 29を参照
- 本体の調整とキャップ類の取付け P 30を参照
- スペーサー・フィラーの取付け
- エンドパネルの取付け
- オプションの取付け
- ケコミ板の取付け P 37~P 38を参照
- 扉の取付けおよび調整

【キッチンパーツの据付工事】



ウォールユニットの取付け

警告

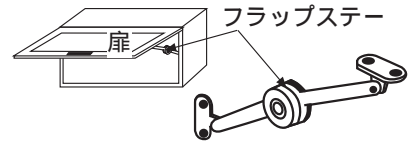
ウォールユニットの据付けは、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。



落下して、ケガをする恐れがあります。

注意

マルチフラップアップ扉ウォールユニットを施工する際は、扉やフラップステーを絶対に取り外して施工しないでください。

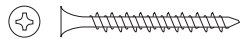


破損して思わぬ事故の原因になることがあります。

壁面の取付け位置に強度上十分な桟が入っていることを確認してください。
取付け位置は全てネジ固定して、取付け忘れのないようにしてください。

- ・ウォールユニットの背板に取付穴(φ4.5)をあけ、⊕ハイロラップネジ4.0×50にて壁面に取付けてください。(図1)
- ・ウォールユニットの連結は側板の棚受けダボ両端の穴より⊕サラタッピンネジ3.5×30にて連結してください。(図2)
- ・上下の連結は上部ユニットの底板に下穴(φ3.5)をあけ、⊕サラタッピンネジ3.5×30にて連結してください。(図3)

⊕ハイロラップネジ 4.0×50



⊕サラタッピンネジ 3.5×30

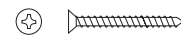


図1

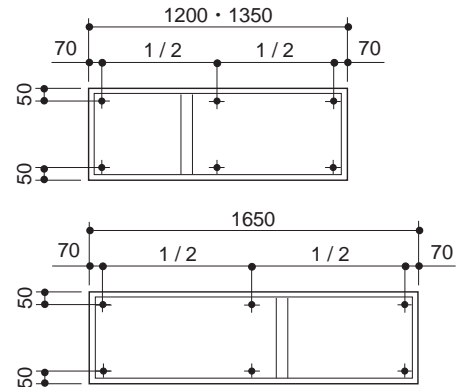
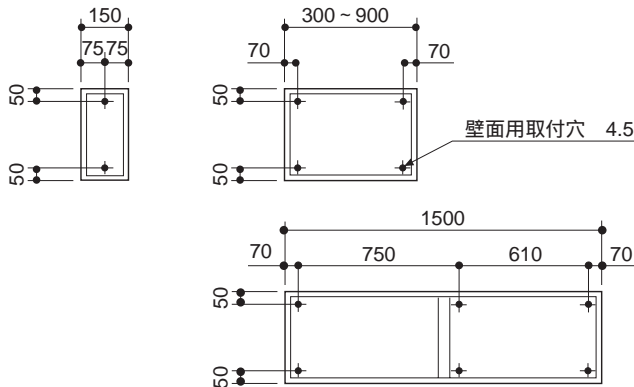


図2

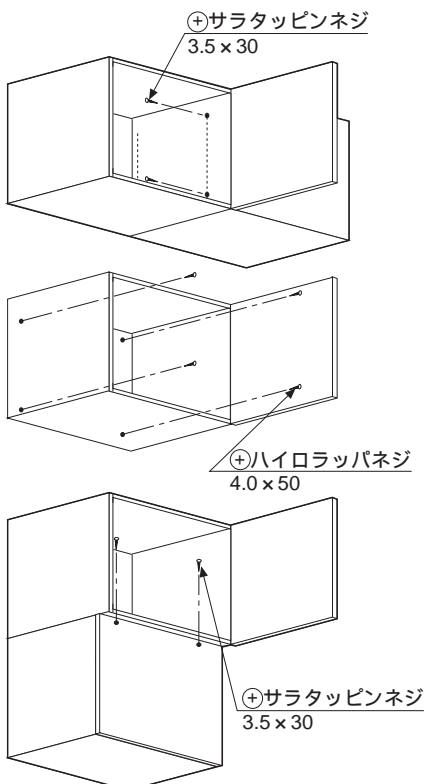
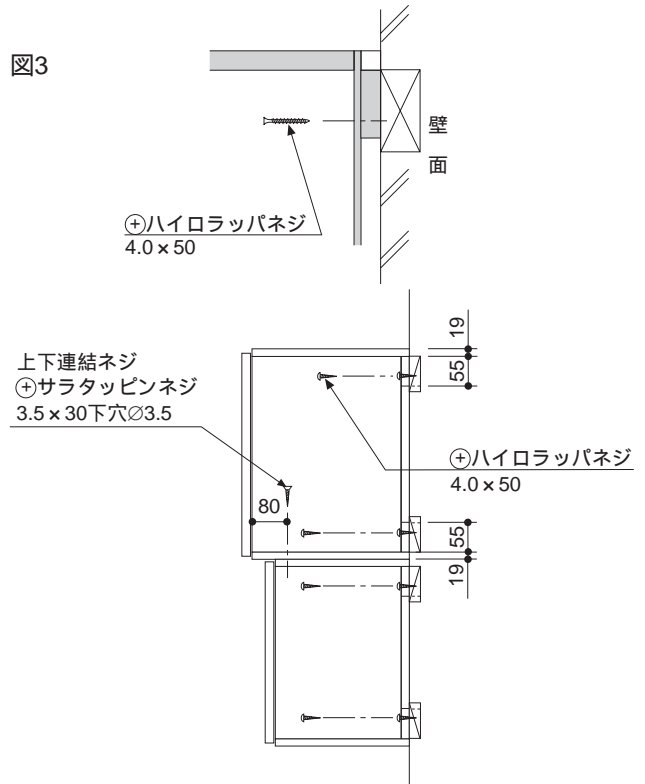
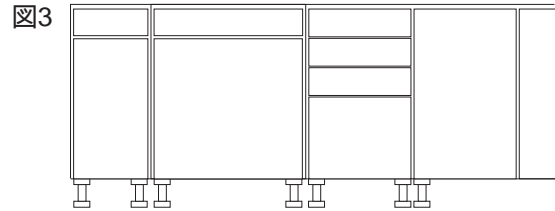
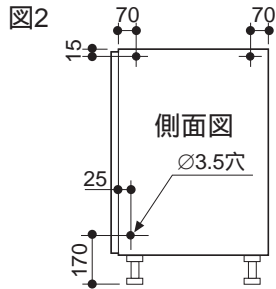
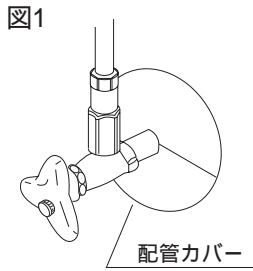


図3

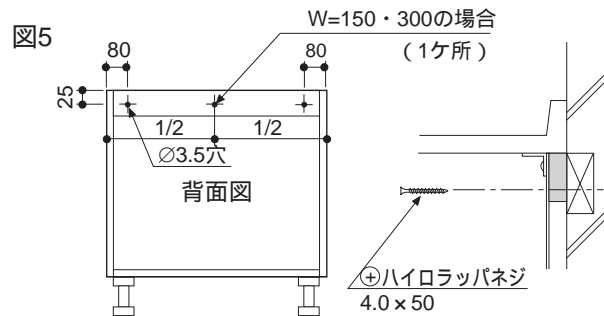
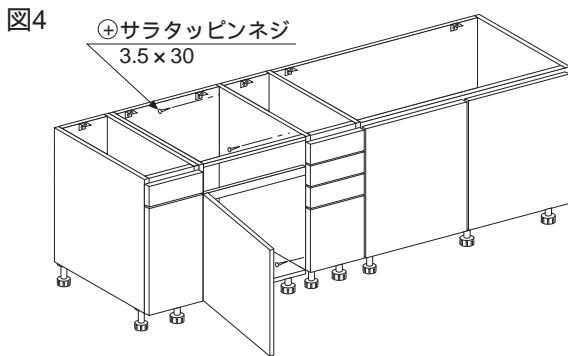
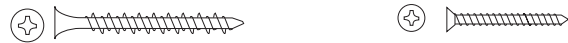


フロアユニットの取付け

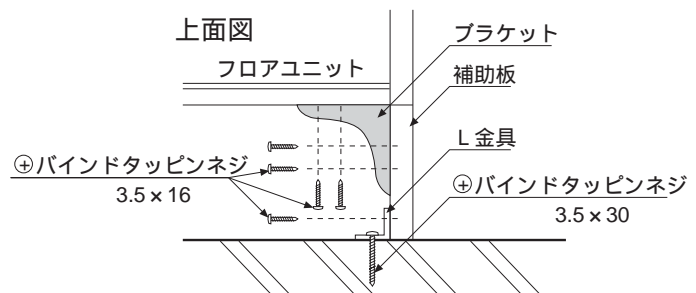
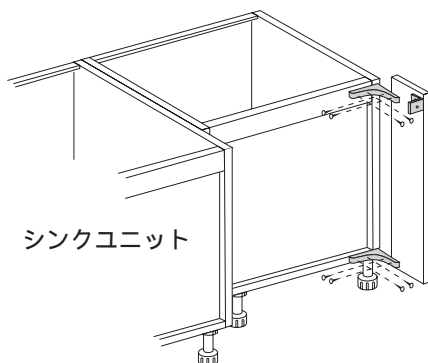
- ・ 底板にアジャスターを取付けてください。(P37参照)
- ・ シンクユニットは、給水・給湯管の取り出しを行い、止水栓取付け後、配管カバーの接着テープをはがして、配管と背板の隙間を塞ぐように貼り付けてください。(図1)
- ・ 製品の組合わせを確認して、片方の側板に連結穴(φ3.5)をあけてください。(図2)
- ・ L型コーナーユニットの場合は、シンク側ユニットの側板に連結穴(φ3.5)をあけてください。
- ・ 製品の組合わせを確認して壁側より、L型はコーナーよりユニットを並べてください。(ユニットの水平はアジャスターで調整する。)(図3)
- ・ 側板の連結穴より、⊕サラタッピンネジ3.5×30にて連結してください。(図4)
(L型コーナーユニットの場合は、シンク側のユニット内部より連結してください。)
- ・ フロアユニットの背板に下穴(φ3.5)をあけ⊕ハイロラッパネジ4.0×50にて壁面に固定してください。(図5)



⊕ハイロラッパネジ 4.0×50 ⊕サラタッピンネジ 3.5×30



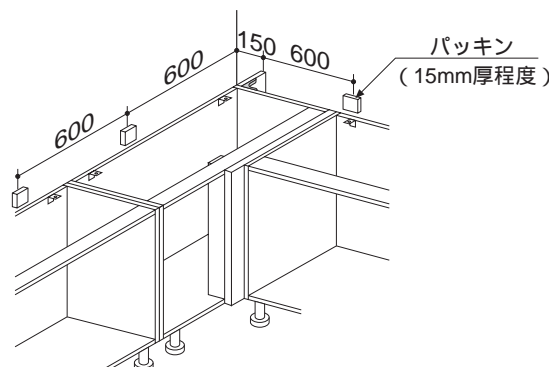
- ・ 奥行き750mmの製品を設置する場合、シンクユニット以外のフロアユニットは奥行きが555mmとなっているので下図のように、補助板・ブラケット・L金具を使用して取付けてください。
- ・ L型の場合、コーナーユニットのコンロ側にも補助板を取付けてください。



⊕バインドタッピンネジ 3.5×16 ⊕バインドタッピンネジ 3.5×30

⊕ (ネジのイラスト) ⊕ (ネジのイラスト)

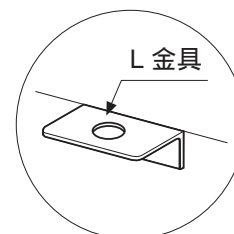
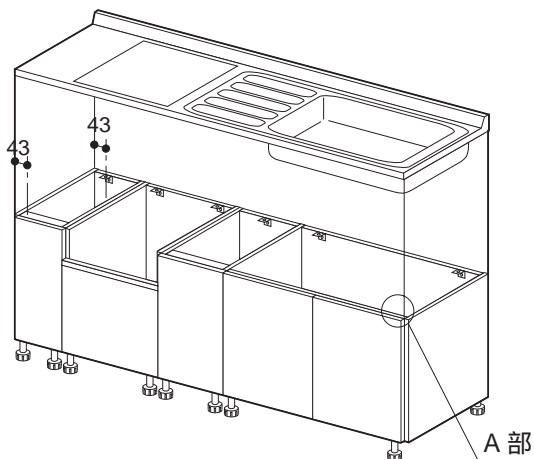
- ・ 奥行き750mmの人大ワークトップの場合、ユニット上面と同じ高さ(15mm厚程度)のパッキンを600mmピッチ以下で壁面に取付けてください。ただし、シンクユニット部分には必要ありません。



ワークトップの取付け

- ・図1のようにワークトップをフロアユニットに乗せてください。
- ・シンクユニットの前面はL金具がつけてありますので、図2のように下面より⊕サラタッピンネジ 3.5×16にてワークトップに固定してください。
- ・その他のフロアユニットの前面は上棧の下穴φ4より⊕サラタッピンネジ3.5×30にてワークトップに固定してください。
- ・後面は、L金具がつけてありますので、図2のように下面より⊕バインドタッピンネジ4.0×12にてワークトップに固定してください。
- ・人大ワークトップの場合は、端に位置する間口450mm以下のユニットのL金具と上棧より、図1に示す位置でワークトップに固定してください。

図 1

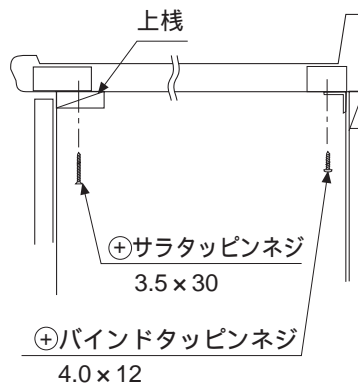
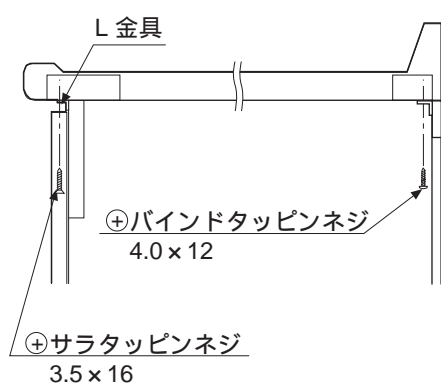


A部拡大図

図 2

シンクユニット

その他のフロアユニット



⊕サラタッピンネジ 3.5×16



⊕サラタッピンネジ 3.5×30



⊕バインドタッピンネジ 4.0×12

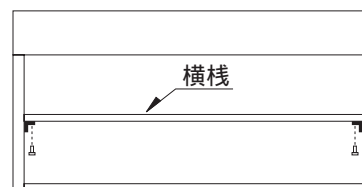


配管前の準備

引出しシンクユニットの場合

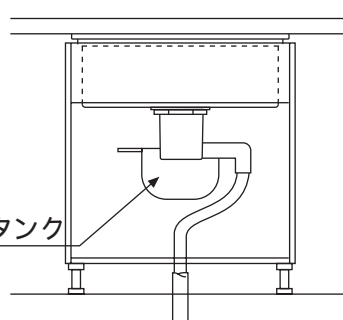
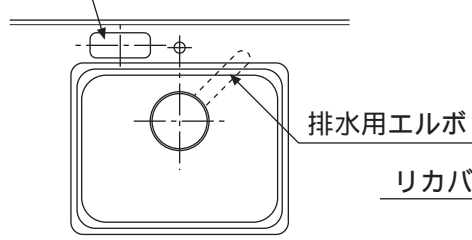
シンクユニット横棧の取り外し

- ・排水管の配管を行う前に、作業しやすくするために、シンクユニットの横棧を外してください。(下方からネジ止めしてあります。)



リカバリータンクの取付け

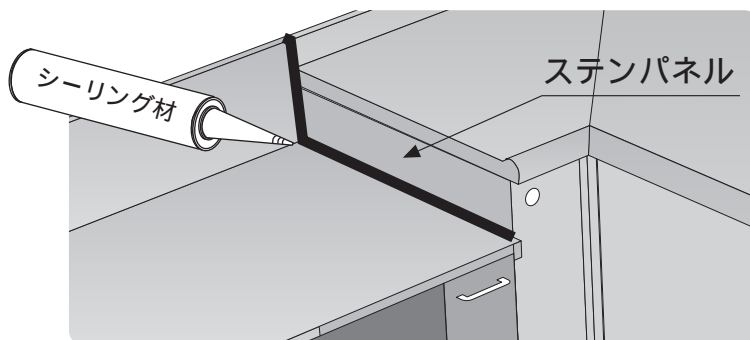
洗剤入れ



2 D Sシンク用引出しシンクユニットにリカバリータンクを取付ける場合、リカバリータンクに当たらないように、排水用エルボを洗剤入れと逆の方向へ向けて取付けてください。

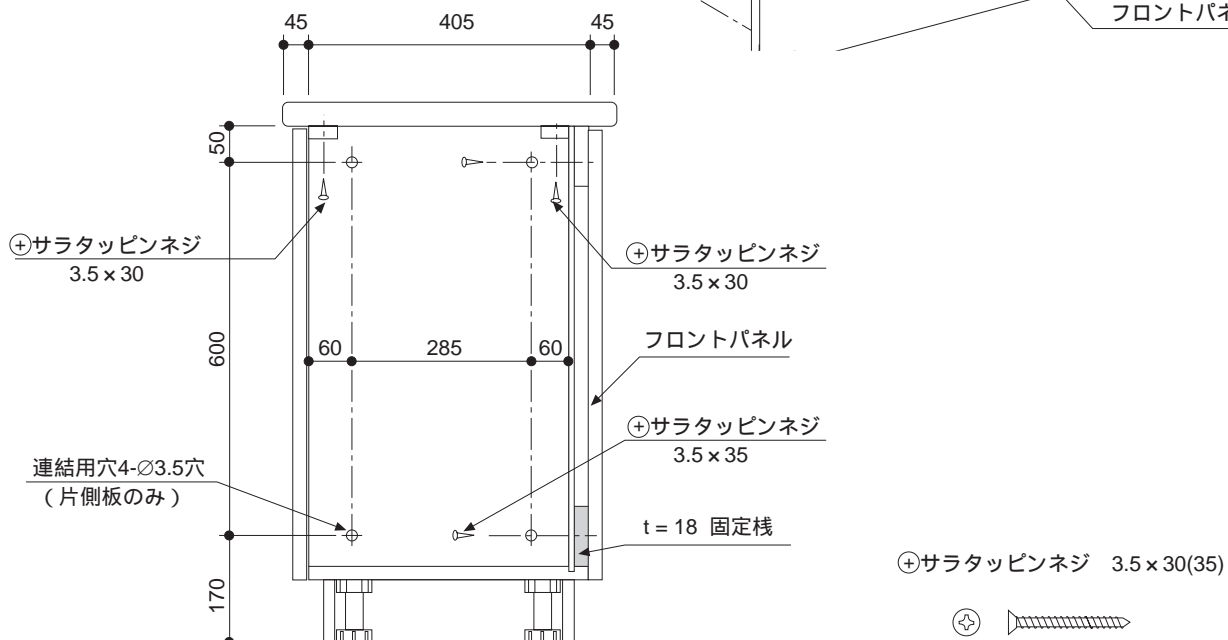
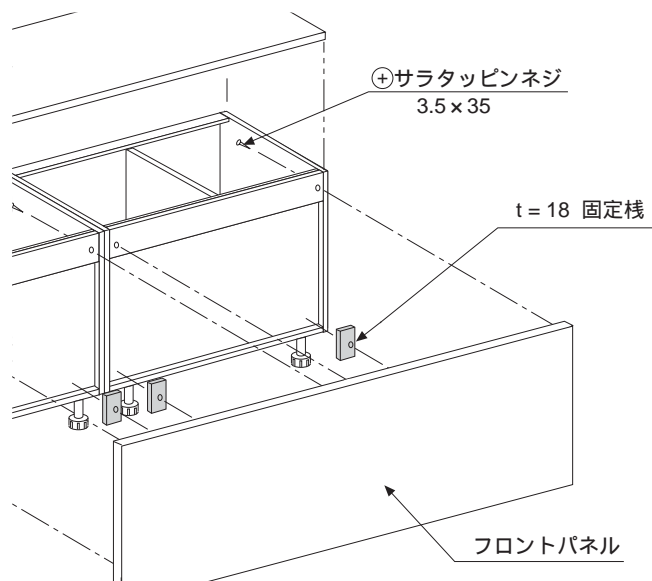
調理機器用トップの取付け

- ・ステンパネルの裏面にシリコンシーリング材を塗布し、フロアユニット側板に隙間のないように貼り付けます。
- ・調理機器用トップを、前記ステンレスワークトップと同様に取付けます。
- ・調理機器用トップとステンパネルの隙間を、シリコンシーリング材でシールします。



両面カウンターの取付け

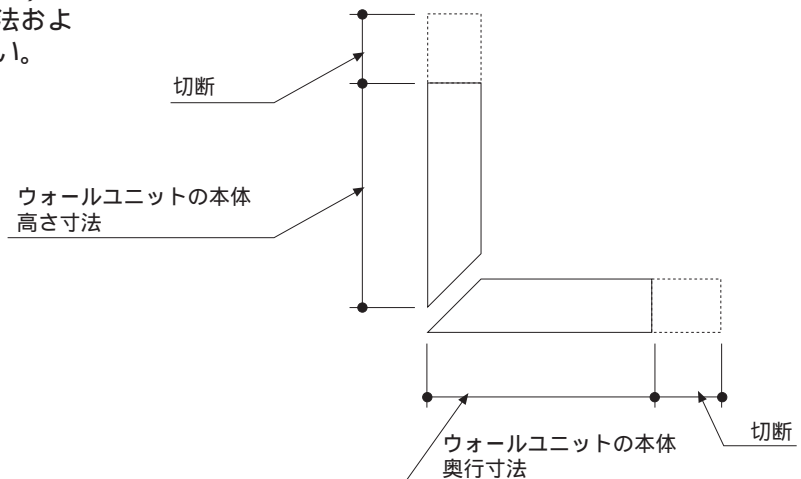
- ・ユニットの片方の側板に連結穴 (Ø3.5) をあけ、⊕サラタッピンネジ 3.5 × 30にて連結してください。
- ・フロントパネルに付属の固定棧をユニット背板の下側に仮止めします。
- ・フロントパネルをユニットに合わせ、ユニット内部の背板より⊕サラタッピンネジ 3.5 × 35にて固定してください。
- ・天板をユニットに乗せ (位置は図参照)、ユニット内部より⊕サラタッピンネジ 3.5 × 30にて固定してください。



エンドスペーサーの取付け

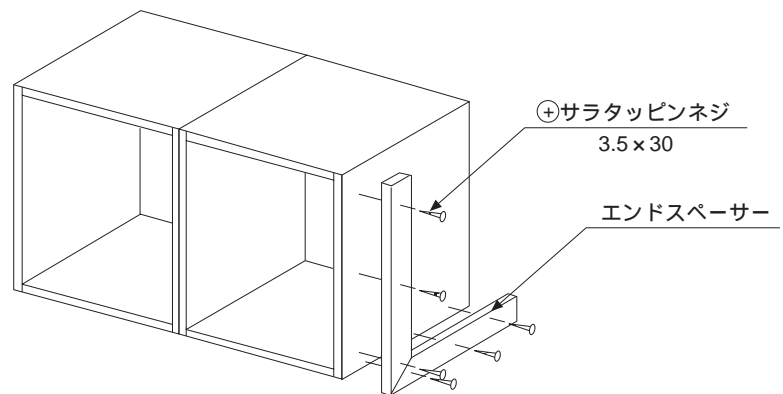
ウォールユニット用

- ・エンドスペーサー部材 (L=900) をウォールユニットの本体高さ寸法および奥行寸法にカットしてください。



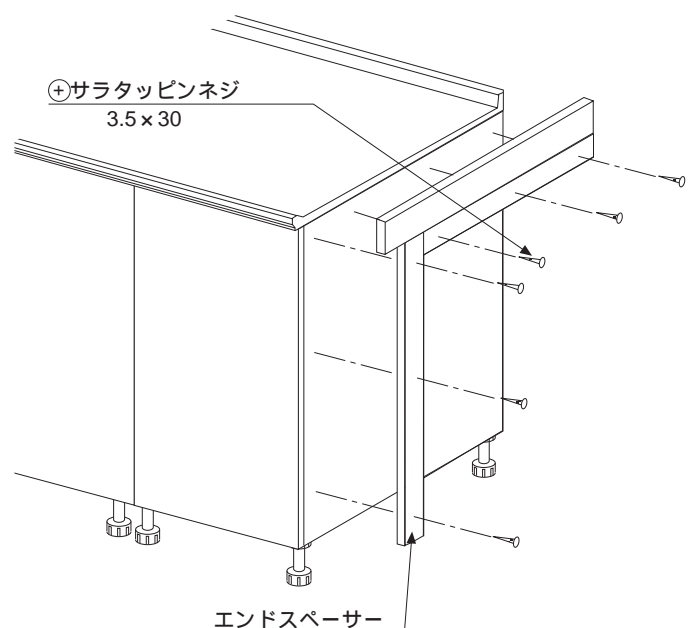
- ・ユニットにエンドスペーサーを⊕サラタッピンネジ3.5×30で固定してください。

⊕サラタッピンネジ 3.5×30

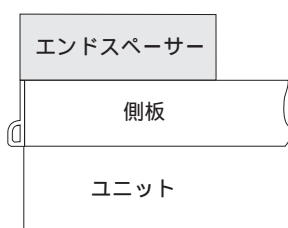


フロアユニット用

- ・フロアユニットにエンドスペーサーを⊕サラタッピンネジ3.5×30で固定してください。
- ・人工大理石ワークトップの場合は、取付け後トップとの隙間をシリコンシーリング材 (クリアー) でシールしてください。



- ・エンドスペーサーはウォール用、フロア用共に側板の前面に合わせて取付けます。

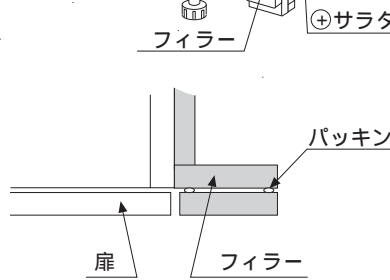
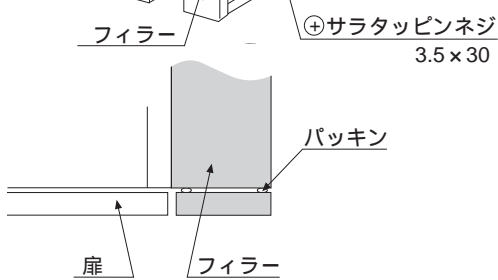
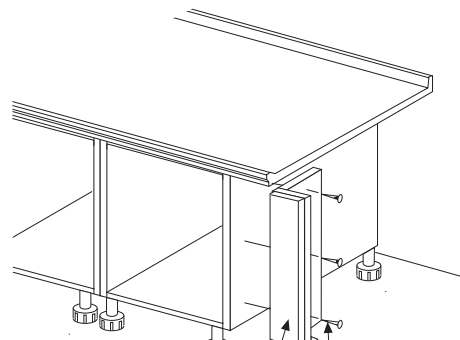
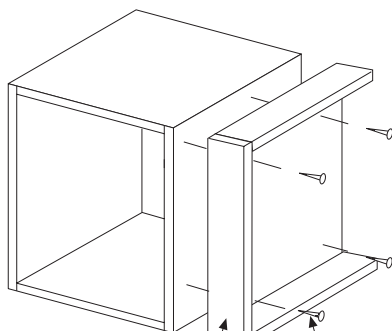


フィルターの取付け

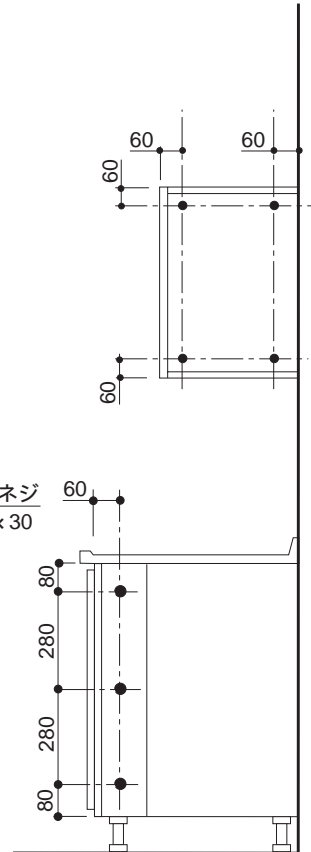
- ・フィルターを取付ける場合は、⊕サラタツピンネジ3.5×30を使用し、指定の位置で固定してください。
- ・フィルターは、本体木口面に合わせて取付けます。

ウォールユニット用

フロアユニット用



⊕サラタツピンネジ 3.5×30

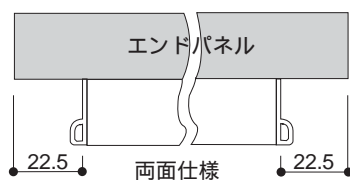
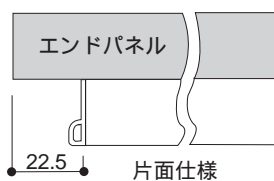
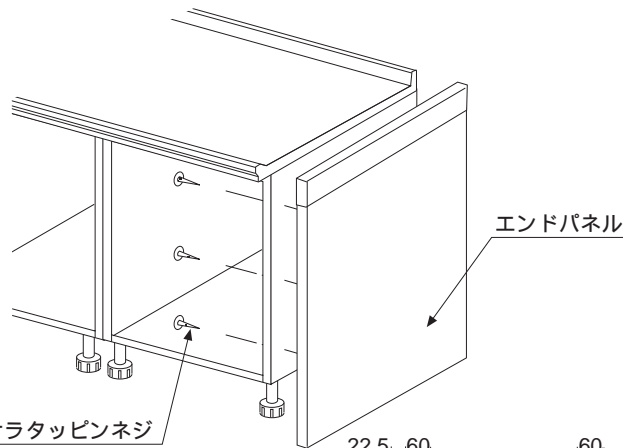
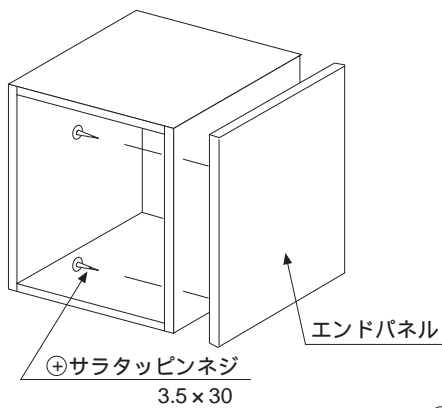


エンドパネルの取付け

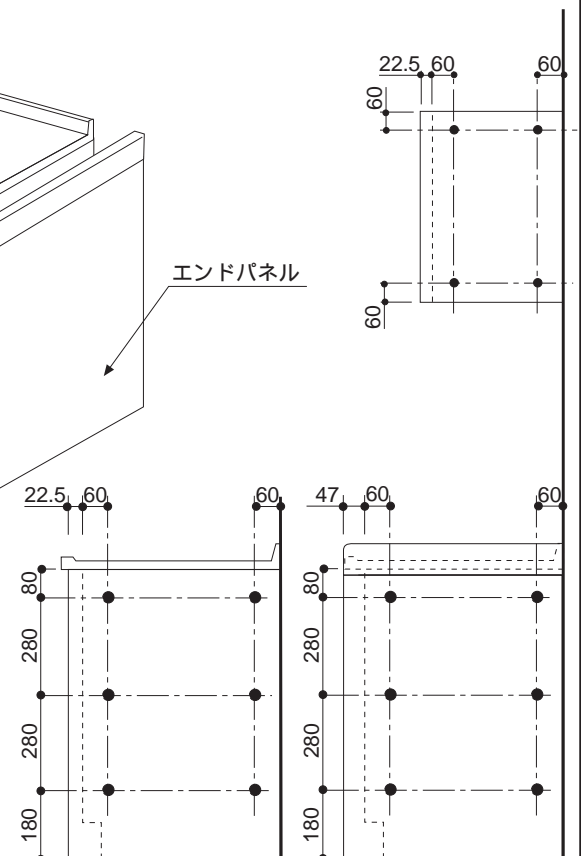
- ・エンドパネルを取付ける場合は、⊕サラタツピンネジ 3.5×30を使用し、指定の位置で固定してください。
- ・エンドパネルは側板より22.5mmのちりを設けて取付けます。

ウォールユニット用

フロアユニット用



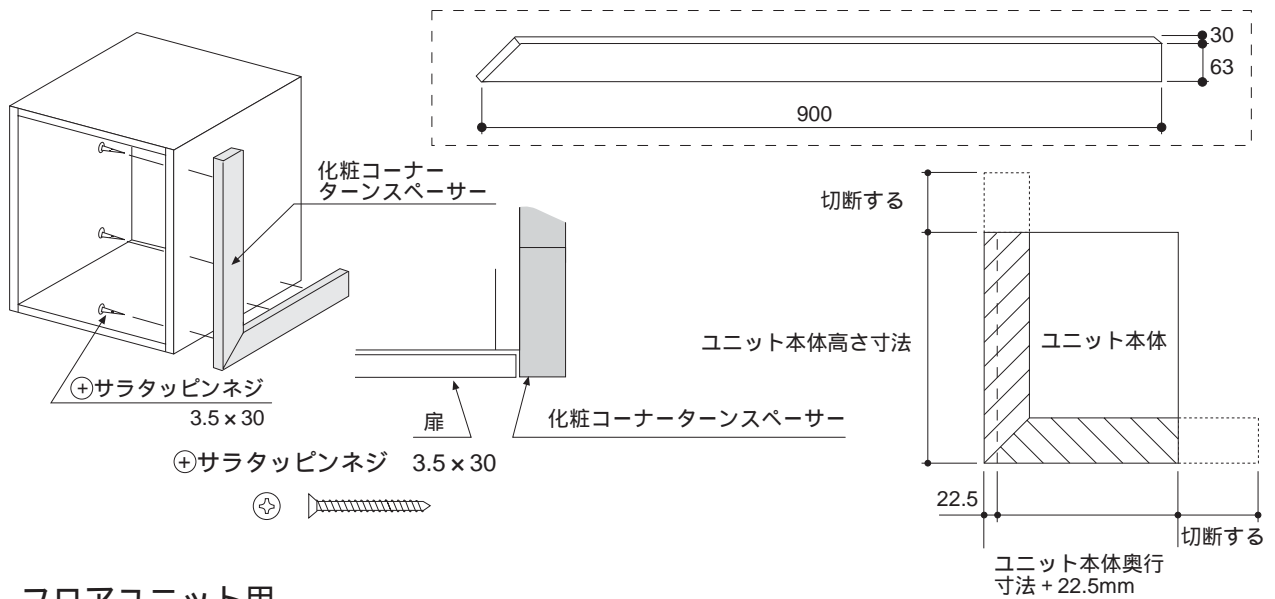
⊕サラタツピンネジ 3.5×30



コーナーターンスペーサーの取付け

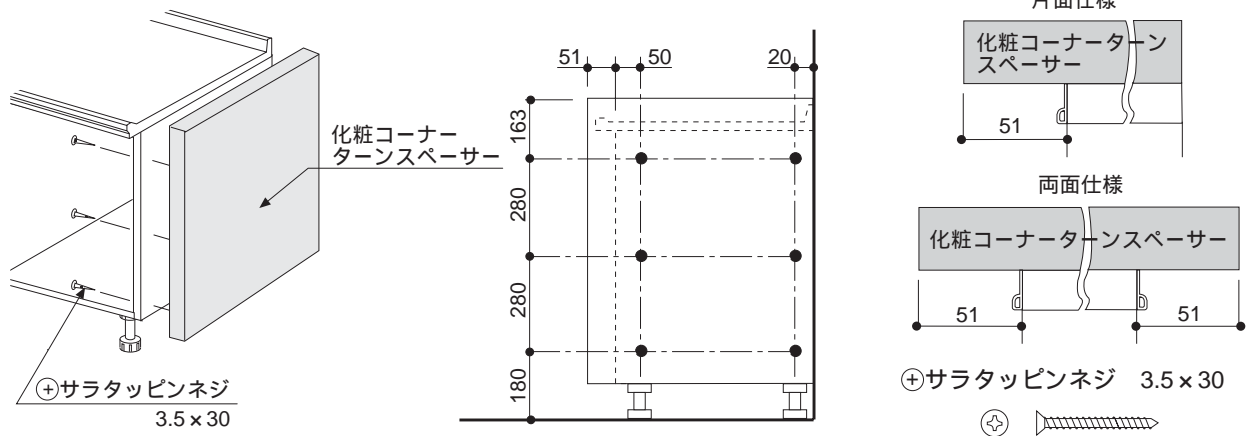
ウォールユニット用

- ・高さ方向に使用する部材寸法は「ユニットの本体高さ寸法」に切断してください。
- ・奥行方向に使用する部材寸法は「ユニットの本体奥行寸法 + 22.5mm」に切断してください。
- ・下記のように部材2本を加工した後、ユニットに取付けてください。



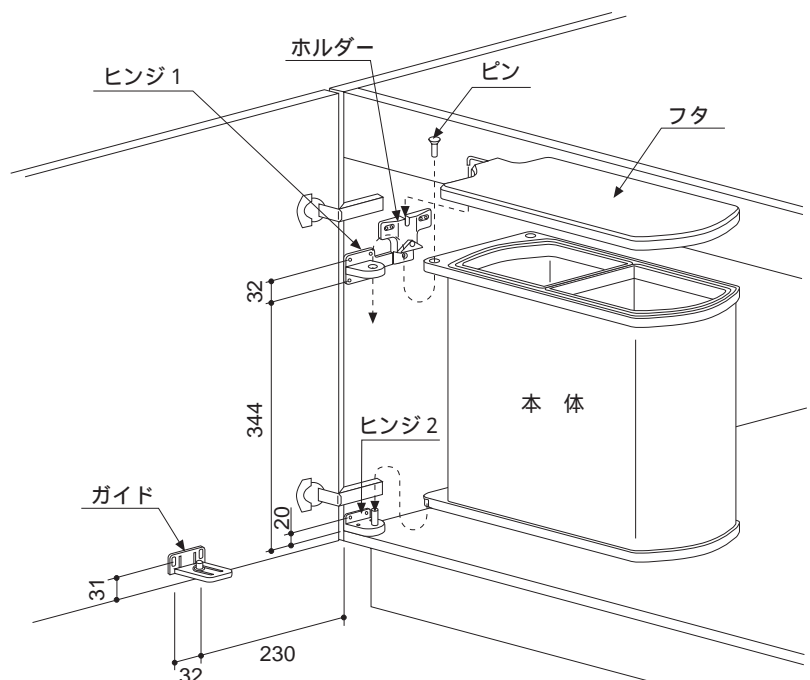
フロアユニット用

- ・下図に従ってコーナーターンスペーサーをユニットに取付けてください。



ダストカンの取付け

- ・図の位置にヒンジ1・ヒンジ2を取付けます。
- ・図の位置にガイドを取付けます。
- ・図の位置にホルダーを取付け、フタを差し込み抜け止めのネジで固定します。
- ・本体をヒンジ2へ乗せながらガイドに付いているピンを本体底の溝に入れ、ヒンジ1へピンを差し込みます。



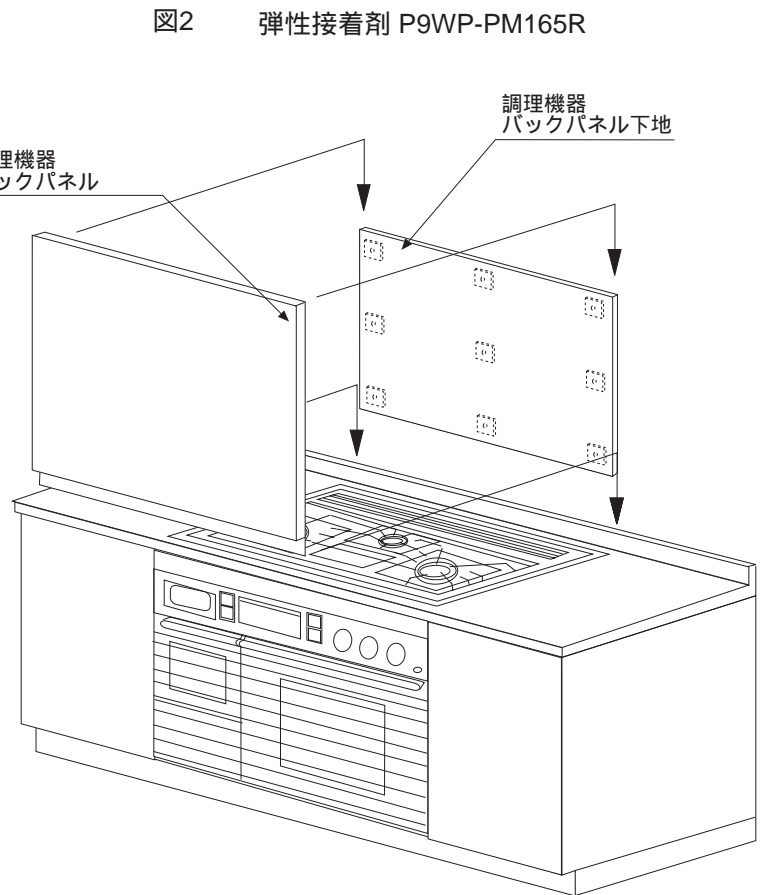
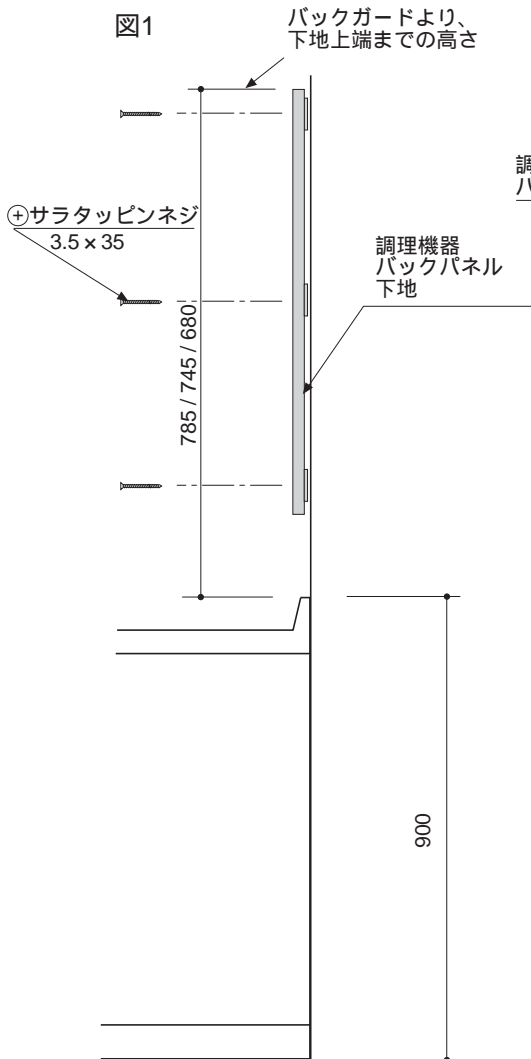
調理機器バックパネルの取付け

- ・調理機器バックパネル下地を図 1 の位置に⊕サラタッピンネジ 3.5×35 で固定してください。
- ・次に固定した調理機器バックパネル下地の上にシリコンまたは弾性接着剤を全面に塗布してください。
- ・図 2 のようにバックパネルを、下地の上から落とし込むようにして取付けてください。

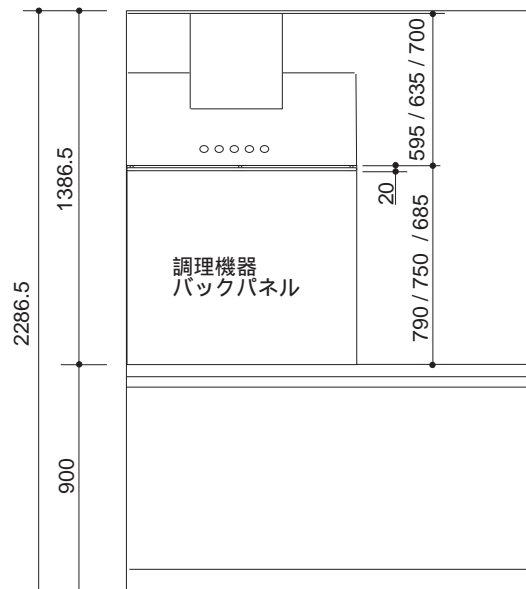
接着剤は別売りです。

必要と思われる場合は別途御注文ください。

弾性接着剤 P9WP-PM165R



⊕サラタッピンネジ 3.5×35



パイラックパーツの取付け

- ・図2の位置に付属取付金具を付属ネジで取付けます。
- ・ブラケットにパイプを通して付属取付金具に差し込みます。
- ・ブラケットの下方ネジを六角レンチで締めて、パイプを固定します。
- ・パイプの両端にエンドキャップを取付けます。

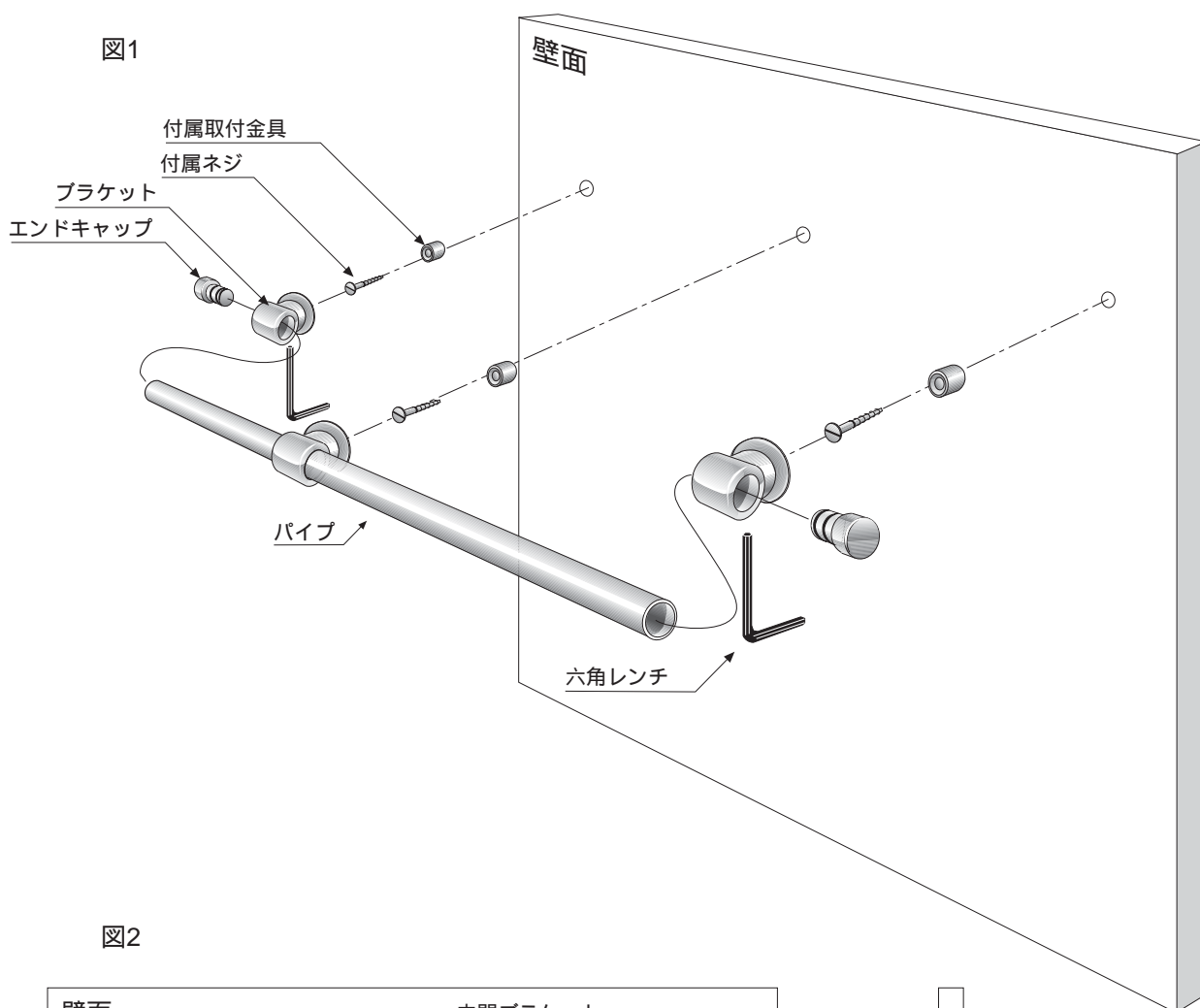
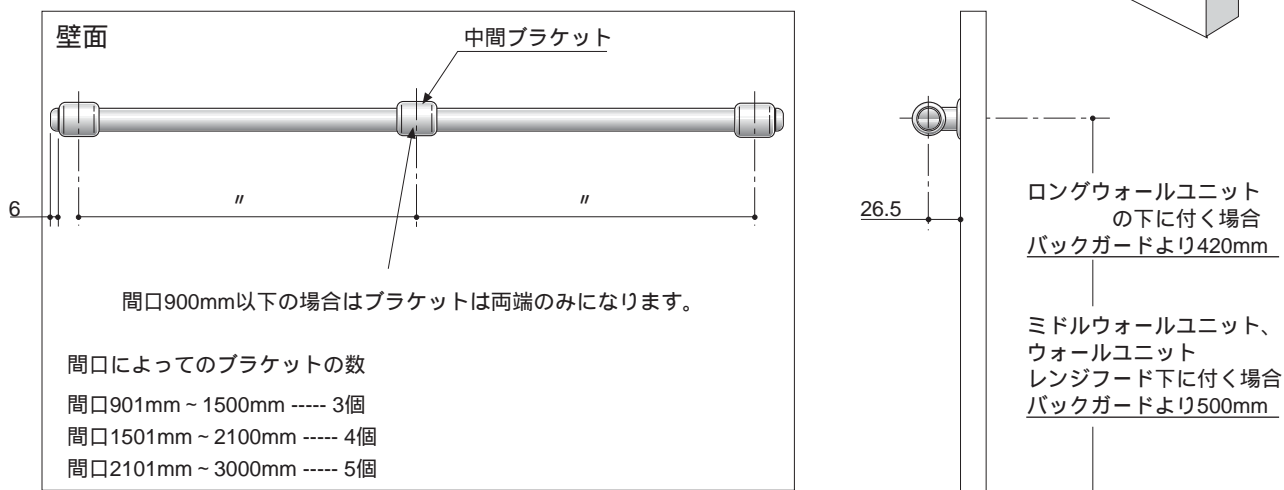


図2

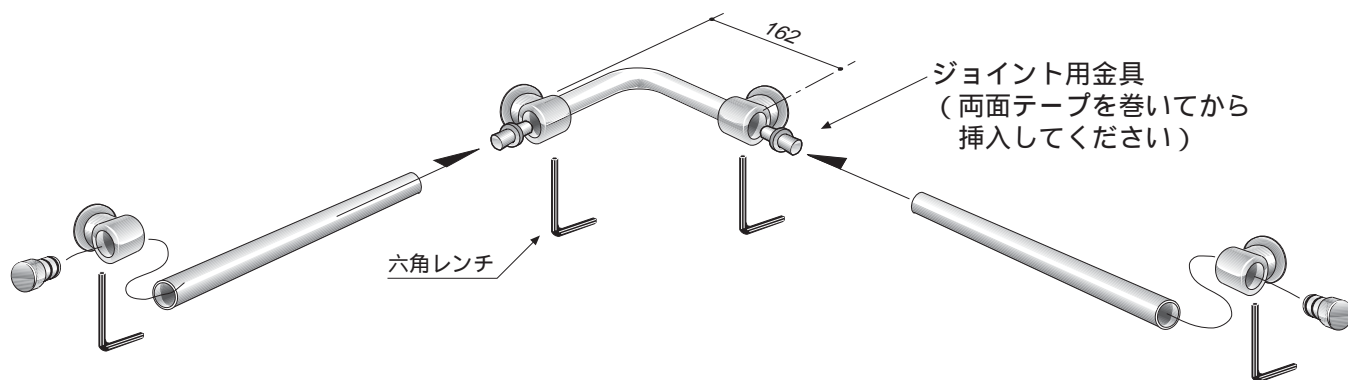


注意 !!

中間ブラケットの位置は基本的に均等割ですが、間口によっては均等割にすると使用できないラックが出てきますので、選んだラックの種類により中間ブラケットの位置を考慮してください。
またブラケット間最大寸法は900mmまでです。

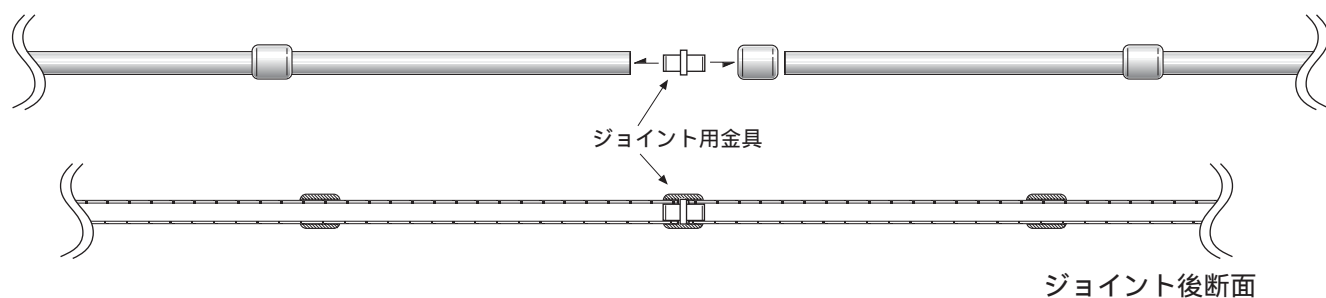
パイプラックパーツの取付け【コーナー用】

コーナー用パイプの取付け



- ・イモネジを六角レンチで締めて、コーナー用パイプを固定します。
(コーナー用パイプにつながる側の直線パイプの固定はジョイント用金具に差し込むだけです。)
- ・コーナー用パイプと直線パイプをつなぎ、ブラケットを通します。そして壁面に固定した付属取付金具にブラケットを固定した後、パイプとブラケットの固定をすると施工が簡単です。

- ・パイプとパイプをジョイントする(直線パイプの延長)





警告

電気工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



火災、感電の原因になることがあります。

壁付け用の場合

- ・ 図1のようにウォールユニットの下に照明カバーを、付属ネジ⁺トラスタッピンネジ3.5×12で図2の位置（底板前づら）に取付けてください。
- ・ 照明サイドカバーを⁺トラスタッピンネジ3.5×12で取付けてください。照明サイドカバーはウォールユニットの奥行に合わせて片方をカットして使用してください。
- ・ 図2のように照明器具を付属ネジで照明カバーの後ろに取付けてください。
- ・ 壁面より電源を取った場合、ウォールユニットの下はコードカバーによってコードをカバーしてください。
- ・ 図3のように2本の照明器具を連結する場合は延長コードによって連結してください。
- ・ 図4、図5のようにウォールユニットが段になっている場合は、延長コードによって連結してコードをコードカバーで保護してください。

図1

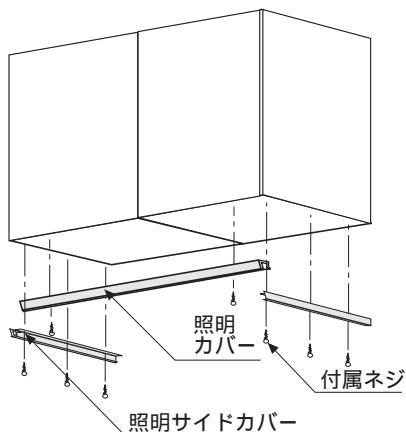


図2

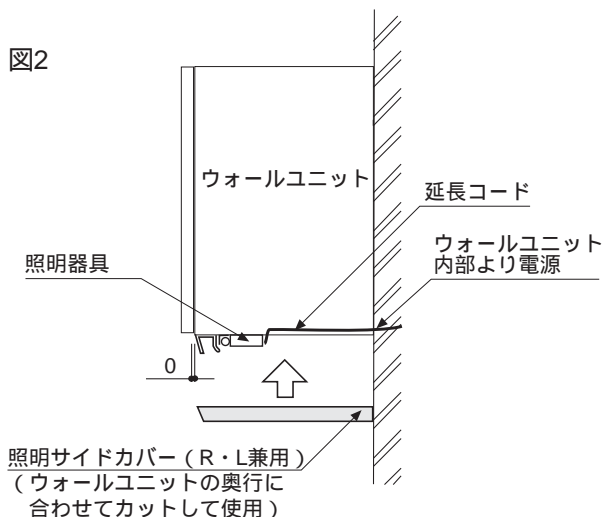


図3

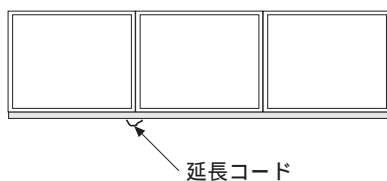


図4

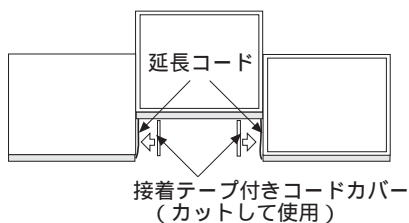
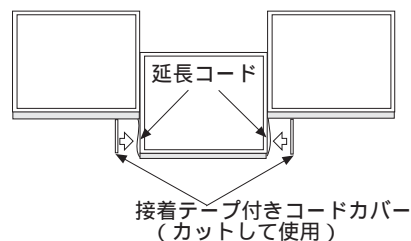


図5



両面用の場合

- ・ 両面用ウォールユニットの場合は、ウォールユニットの両側に照明カバーを取付けてください。
- ・ 照明器具は図6のように片面用の時と対称に取付けてください。

⁺トラスタッピンネジ 3.5×12

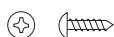
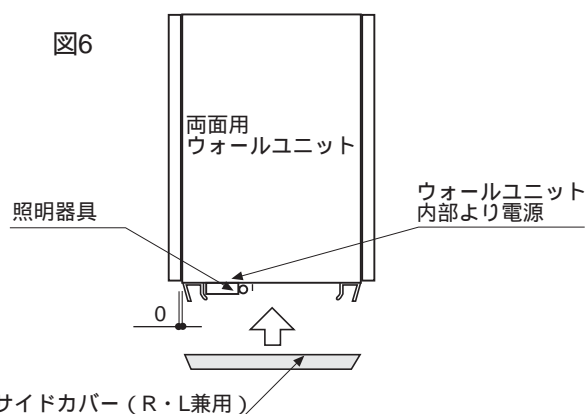


図6

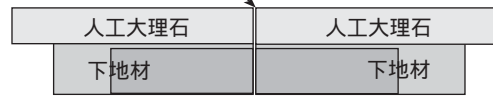


人工大理石【アクアストーン】【カームストーン】天板の取付け

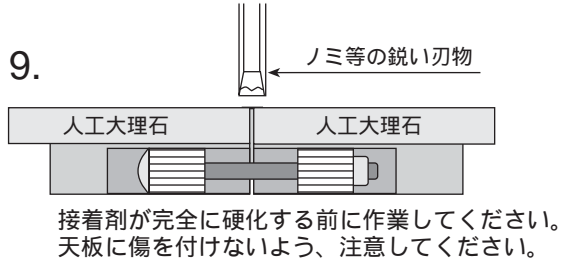
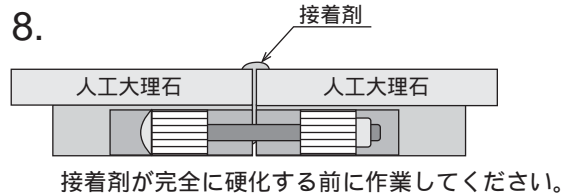
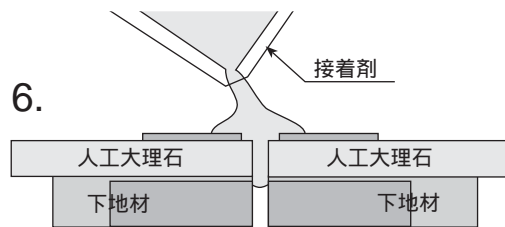
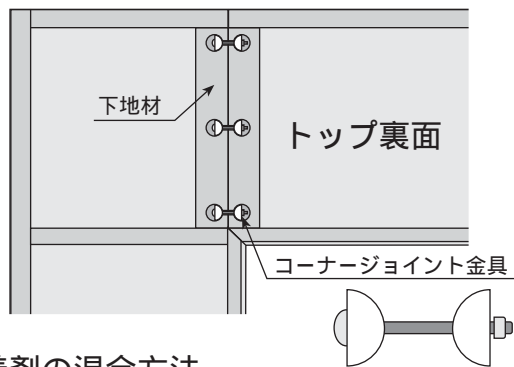
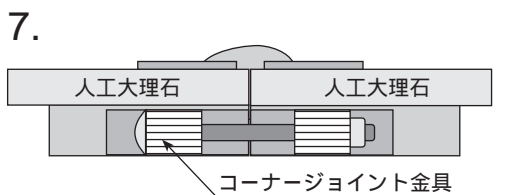
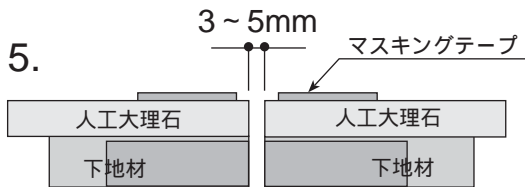
L型天板の連結

- 1.フロアユニットを据付けてレベルの確認をします。
- 2.天板をセットして、L型の片側をフロアユニットに取り付けます。(固定側とする)
- 3.もう片側の天板をフロアユニットの上ののせます。(この時には固定しません)
- 4.すり合わせを行い、2つの天板の段差がなくなるよう、調整してください。

4. 段差が出ないように、調整を行ってください



- 5.イソプロピルアルコール(イソプロパノール)または水を使用して、接着部を掃除、脱脂し、十分に乾燥させてください。シンナー・ベンジンは接着力が低下しますので使用しないでください。天板上面に、マスキングテープを貼り付けます。
- 6.天板の間に3~5mmほどの隙間を開けておき、同梱の接着剤を混合して、流し込みます。
- 7.コーナージョイント金具を締め込み、天板どうしを固定します。接着剤が全て押し出されてしまうような過多のクランプ圧力をかけないでください。(奥行き600トップ3ヶ所、奥行き750トップ4ヶ所、奥行き750トップの場合、人大トップ奥のジョイント金具は、コーナーユニットを後ろへずらして固定します。)
- 8.接着剤が完全に硬化する前に、マスキングテープを取り除きます。(5~15分で硬化が始まります)
- 9.接着剤が完全に硬化する前に、ノミ等の鋭い刃物ではみ出した接着剤を削り取ります。(天板に傷を付けないよう、注意してください)
- 10.固定していなかった天板をユニットに固定します。



接着剤の混合方法



1
プラスチックの留め具を外します。



2
机の角等を利用し、袋をしごいて2つの液体を完全に混合してください。



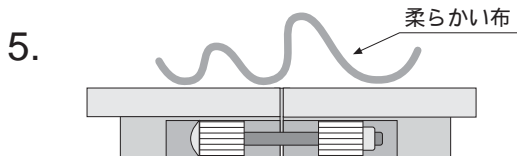
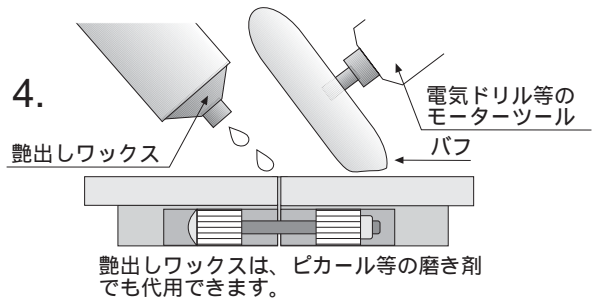
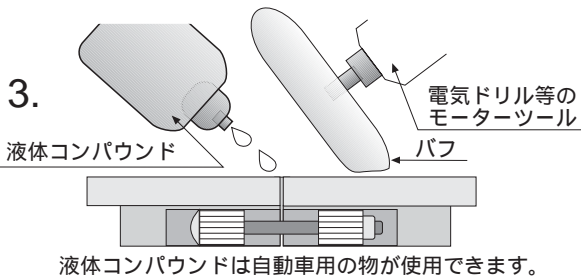
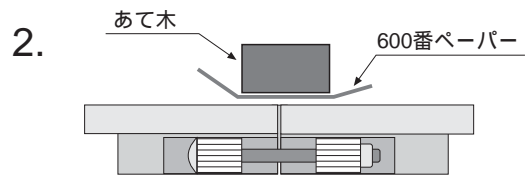
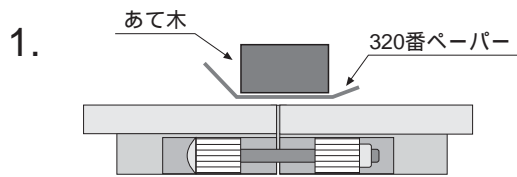
3
袋の角を切り、接着剤を出してください。

接着剤は混合してから、5~15分で硬化が始まり、1時間ほどで完全に硬化します。

人工大理石【アクアストーン】【カームストーン】接合部の仕上げおよび補修方法

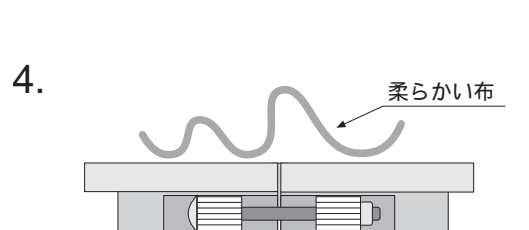
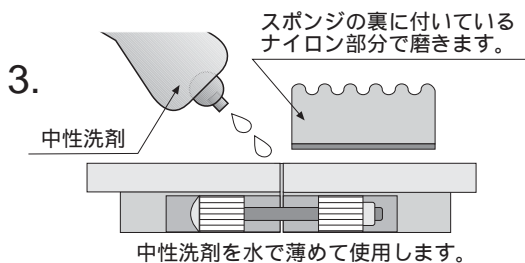
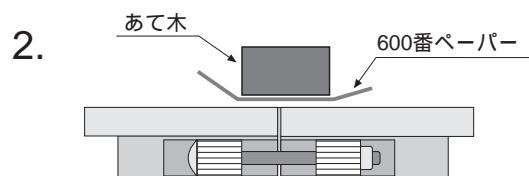
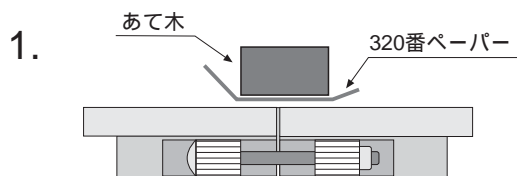
・アクアストーンの場合【鏡面仕上げ】

1. ジョイント部分を320番ペーパーでサンディングします。【あて木を使用するときれいに仕上がります】
2. 次に600番ペーパーでサンディングします。
【ジョイント部分の段さ・傷が小さな場合は600番ペーパーのサンディングから始めてください】
3. 市販の研磨材入り液体コンパウンドを使用し、パフを掛けてください。
4. 市販の艶出し用ワックスを使用し、パフをかけます。
5. 最後に、きれいな柔らかい布でから拭きして、ワックスを拭き取ります。



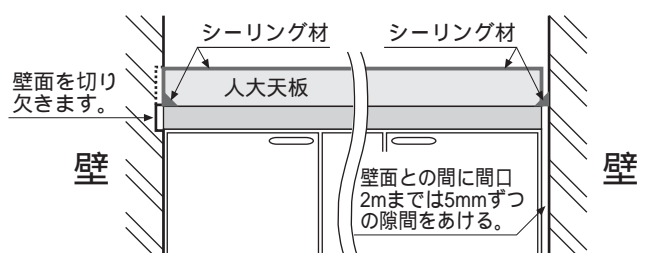
・カームストーンの場合【艶消し仕上げ】

1. ジョイント部分を320番ペーパーでサンディングします。【あて木を使用するときれいに仕上がります】
2. 次に600番ペーパーでサンディングします。
【ジョイント部分の段さ・傷が小さな場合は600番ペーパーのサンディングから始めてください】
3. スコッチブライトに中性洗剤をつけて磨きます。
【食器洗い用のスポンジの裏に付いている、ナイロン部分も使用できます】
4. 最後に、きれいな柔らかい布でから拭きしてください。



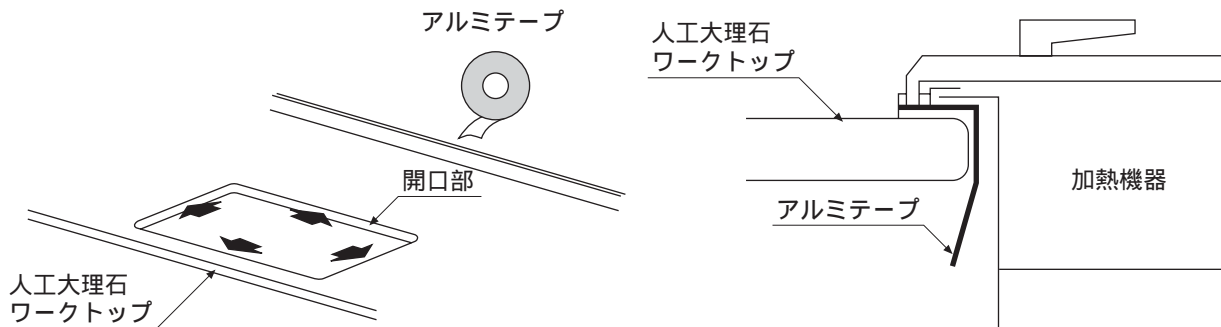
人工大理石【アクアストーン】【カームストーン】の施工上の注意

人工大理石は熱により膨張します。壁と壁の間に設置する場合は、必ず両側に間口2mまでは5mmずつの逃げ、以後1mごとに+3mmずつの逃げを設けてください。壁面の加工が不可能な場合は、ユニットと壁面の間に間口2mまでは5mmずつの隙間、以後1mごとに+3mmずつの隙間をあけて、天板を逃がすようなレイアウトにしてください。人大天板と壁との隙間の全周をシーリング材等で仕上げてください。



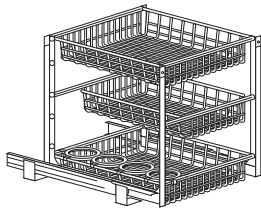
加熱機器設置前の準備（人工大理石ワークトップの場合）

- ・ 人工ワークトップの場合、加熱機器を設置する前に開口部全周に付属のアルミテープを貼ります。アルミテープは加熱機器からはみ出ない程度に人工ワークトップの上面に貼り、下側は少し折り曲げてください。
- アルミテープを貼らないで加熱機器を設置すると、開口部からヒビや割れが発生する恐れがあります。加熱機器は開口部の中心に設置し、人工ワークトップに接触させないでください。



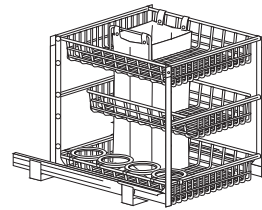
オプションパーツの取付け位置

- ・ 下図の内装パーツを取付ける場合は、スライドレールを底板に固定します。指定の位置にスライドレールを取付けてください。



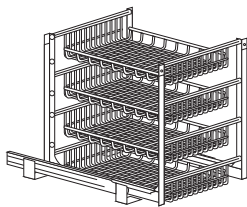
スライドバスケット3段
(ピン立て付)

VOP-SK3050C1 (235 × 460 × 498)
VOP-SK4550C1 (385 × 460 × 498)



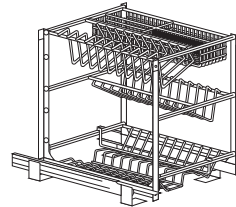
スライドバスケット3段
(ピン立て・フック付)

VOP-SK3050C3 (235 × 460 × 498)
VOP-SK4550C3 (385 × 460 × 498)



スライドバスケット4段

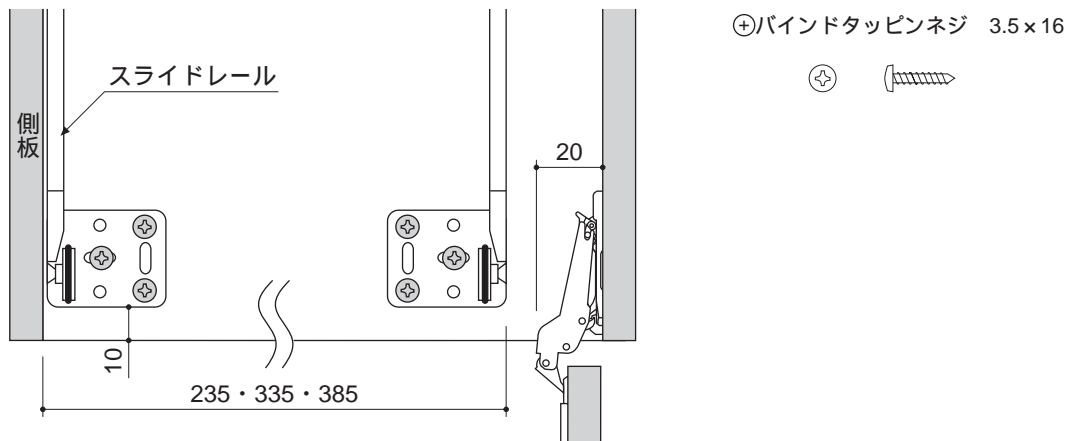
VOP-SK4550D4 (335 × 460 × 498)



スライドバスケット3段
(皿立て)

VOP-SK4550C2 (335 × 460 × 498)

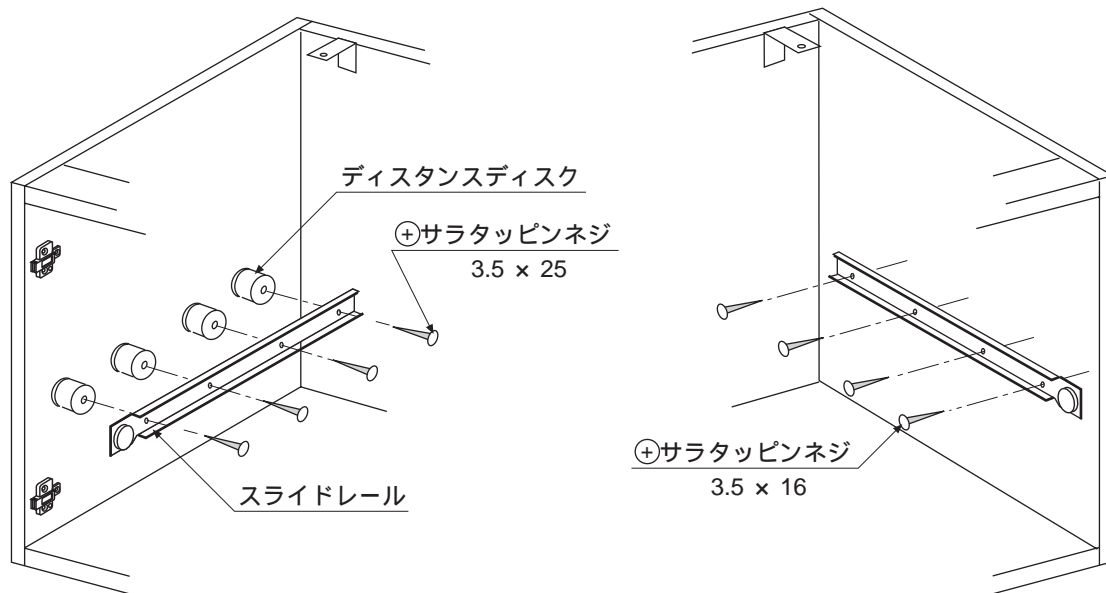
- ・ 下記の位置にスライドレールを取付けます。



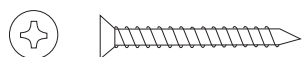
丁番がある場合は、丁番に当たらないように側板より離して取付けてください。

スライド棚の取付け

- ・スライドレールを指定位置に、丁番がついている側板には、側板とレールの間にディスタンスディスクをはさみ、⊕サラタッピンネジ3.5×25を使用し取付ける。丁番なしの側板には、⊕サラタッピンネジ3.5×16を使用し取付ける。



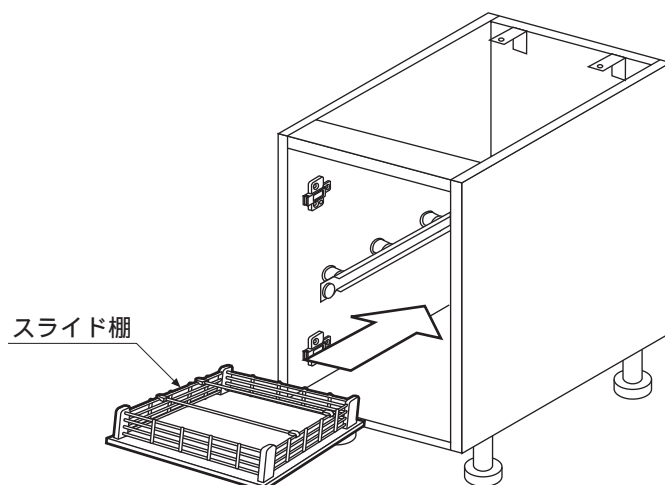
⊕サラタッピンネジ 3.5×25



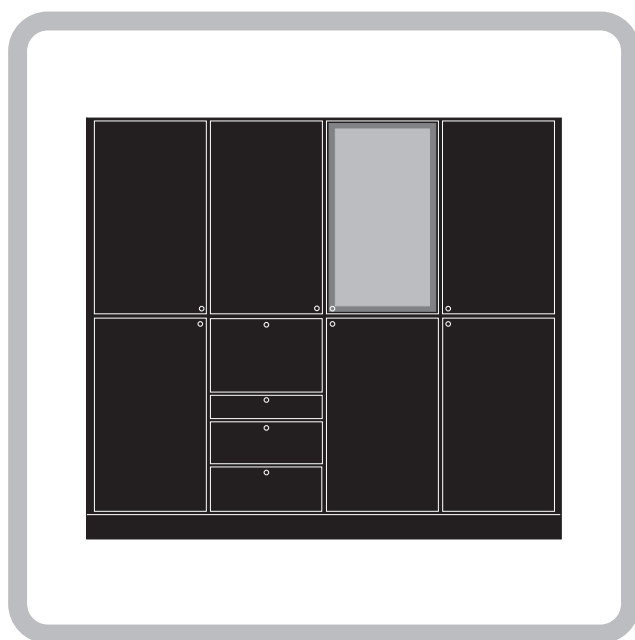
⊕サラタッピンネジ 3.5×16



- ・スライド棚を取付けます。

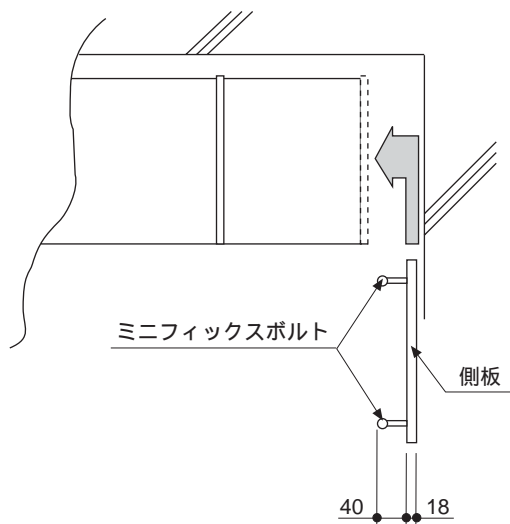
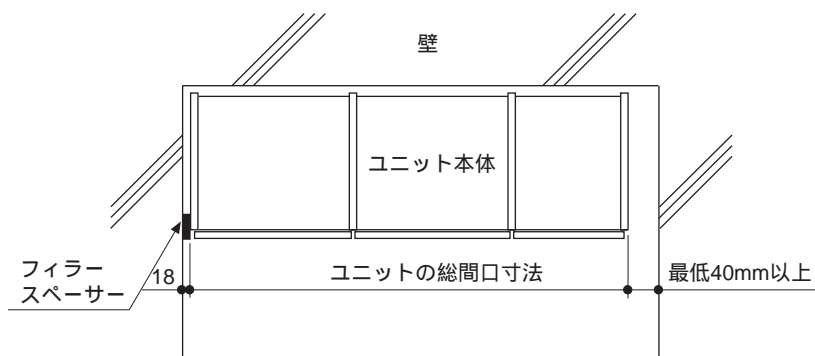


【収納パーツの据付工事】



間口方向の納まり

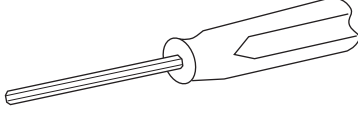
- ・ユニット据付けに必要な間口スペースは、据付けしようとするユニットの総間口寸法（化粧パネル等を含む）より最低40mm以上の寸法が必要です。



- ・側板には、天板・底板と連結するためのミニフィックスボルトを取付けますので、ミニフィックスボルトの長さ分だけのクリアランスが必要です。

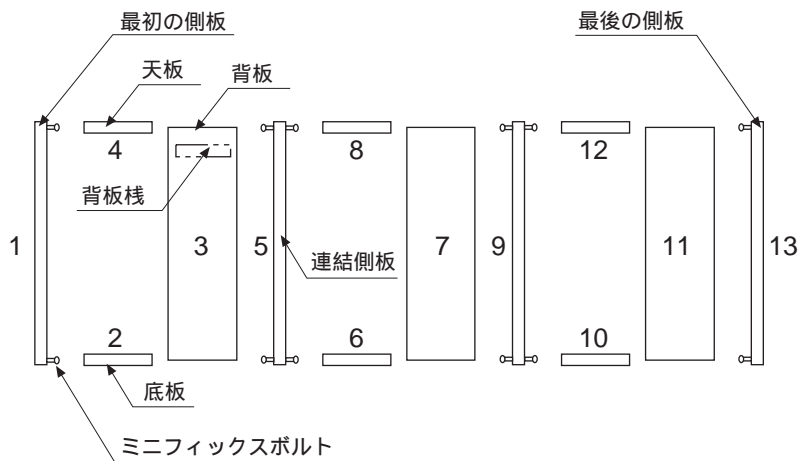
付属工具

- ・ユニット組立てに必要な工具として下記の物が付属されています。組始める前に確認してください。

名称	六角ドライバー
姿図	 4mm用六角 1本
使用用途	底板、天板の連結金具（ミニフィックス）の連結用

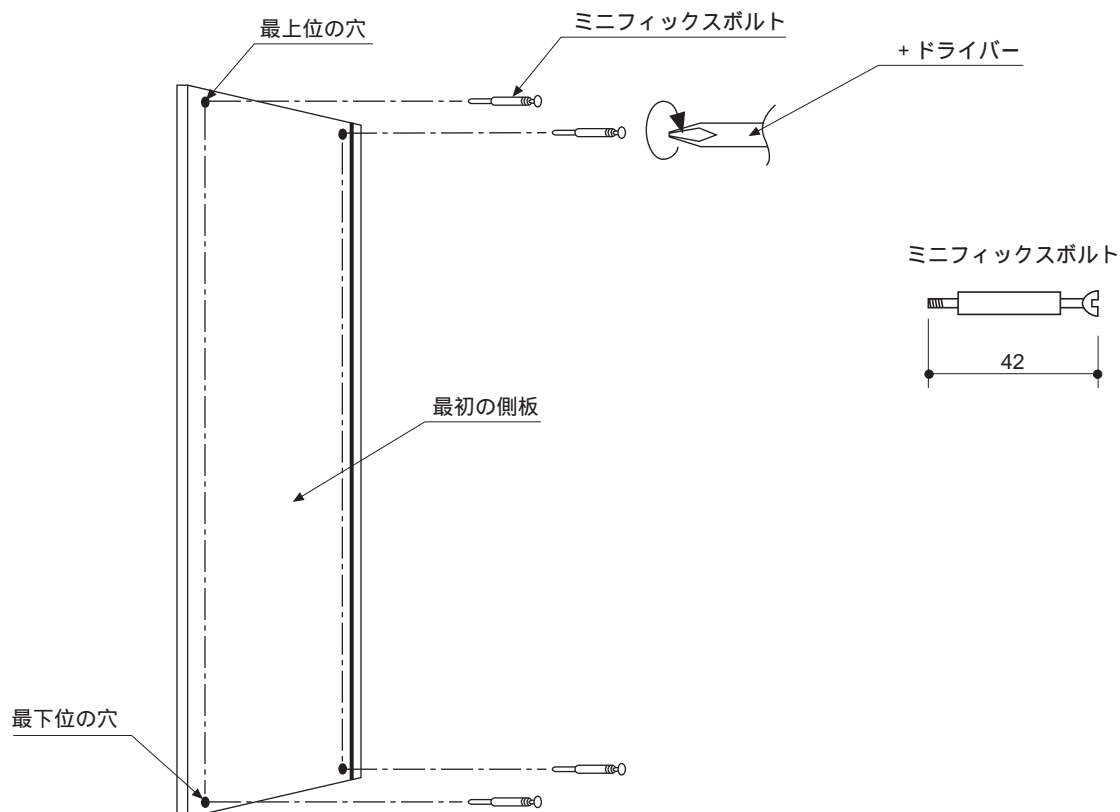
基本的な収納ユニット本体の組立て順序

- ・ 収納ユニットはミニフィックスボルトを使用して側板・底板・背板・天板を組立てます。

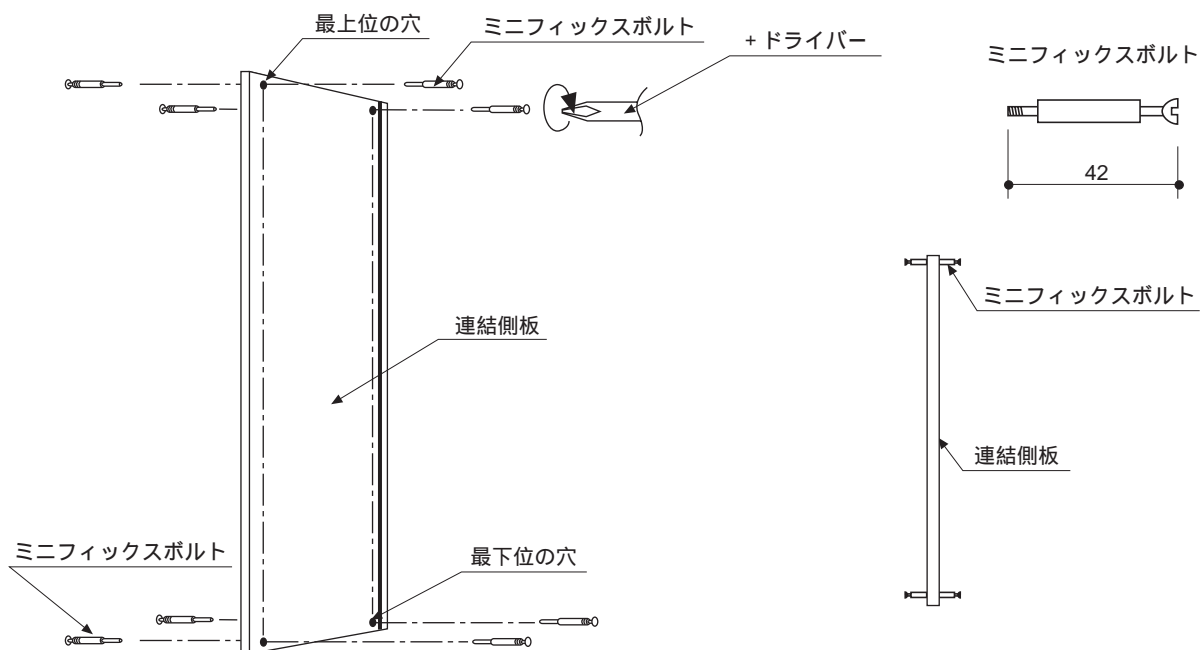


ミニフィックスボルトの取付け

- ・ 最初の側板（片面のみ穴があいている）に、天板・底板取付用のミニフィックスボルトを、側板にしているダボ穴の最上位と最下位の穴（インサートナットが打ち込んであります）に +ドライバーで取付けてください。



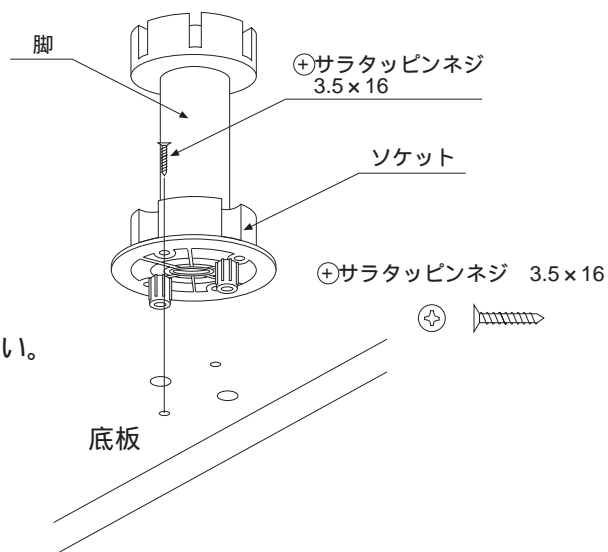
- ・連結側板（側板の両面に穴があいている）の両面に、天板・底板取付用のミニフィックスボルトを取付けてください。



アジャスターの取付け

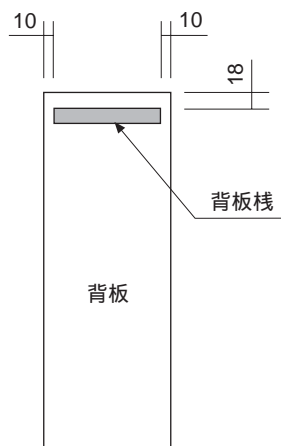
- ・底板にアジャスターを取付けてください。

- ① 底板にソケットを打ち込み取付ネジ（+サラタッピンネジ3.5×16）1本で底板に固定してください。
- ② 次に脚をソケットの取付穴にはめ込んでください。



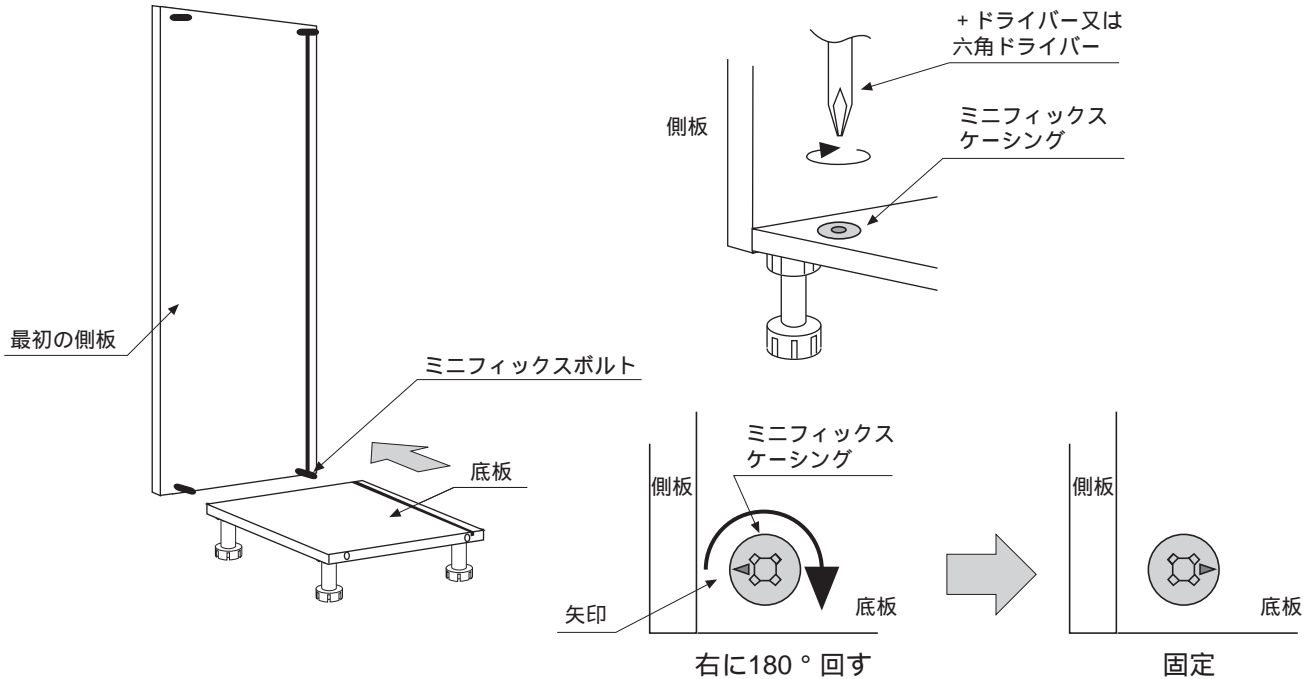
背板棧の取付け

- ・背板に背板棧を、図に示す位置に両面テープで貼り付けてください。
- ・壁面の取付棧の位置が指定位置でない場合には、取付棧の位置に合わせて背板棧を貼り付けてください。

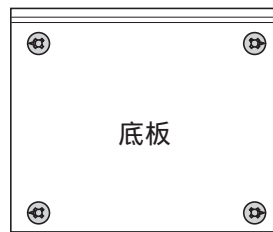


本体の組立て

- ・底板を床面に置いてください。
- ・側板に取付けたミニフィックスボルトに、底板の側面木口にあけてある穴を合わせてしっかりと差し込んでください。
(ミニフィックスケーシングに付いている矢印が側板側に向いているか確認してください。)
- ・底板に取付けてあるミニフィックスケーシングを+ドライバー又は六角ドライバーで図に示すように締め付けてください。

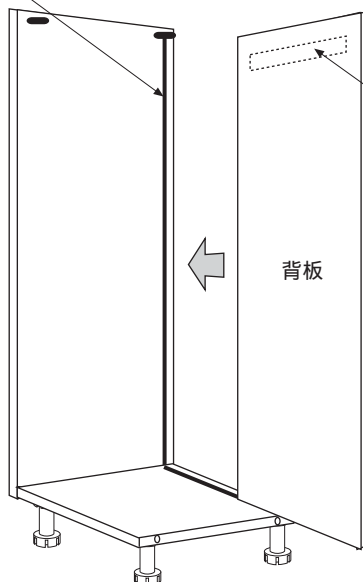


天板と底板はよく似ていますので取付けの際は、注意してください。



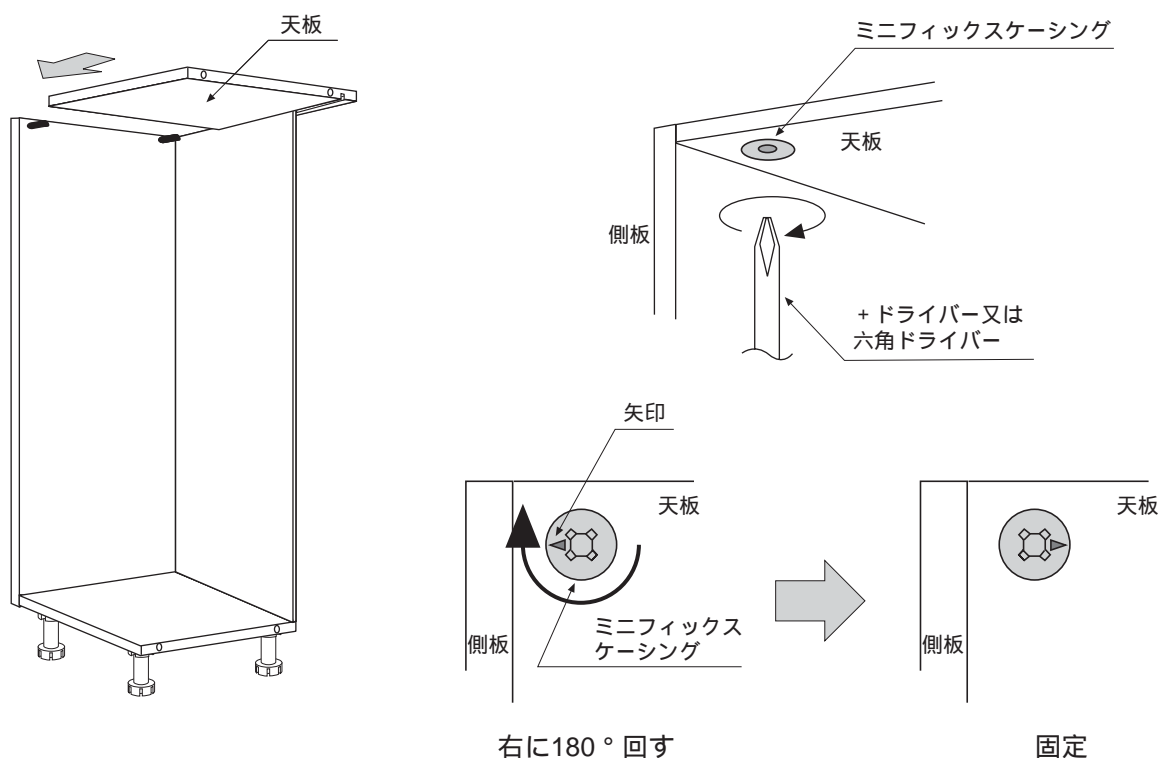
底板の裏にはアジャスター取付用の穴が8ヶ所にあいています。

背板ミゾ

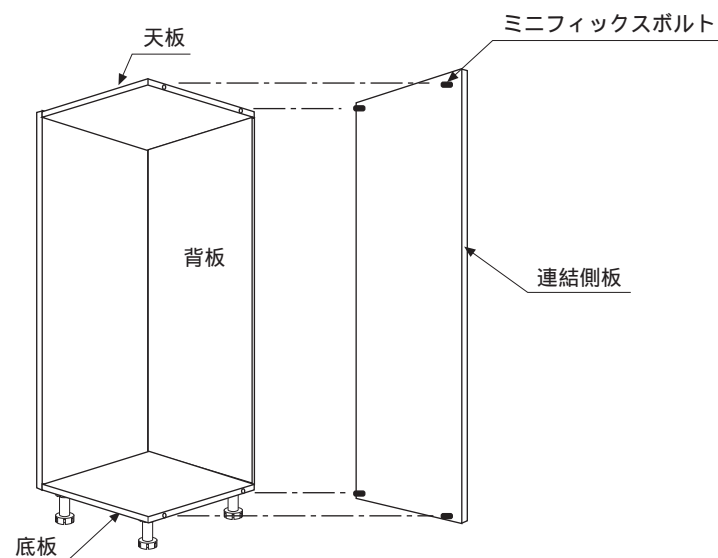


- ・側板と底板の後部背板ミゾに背板を差し込んでください。

- ・天板の後部のミゾを背板に乗せてすべらせるようにして移動させ、側板に取付けたミニフィックスボルトに天板の側面木口にあけてある穴を合わせて差し込んでください。
(ミニフィックスケーシングに付いている矢印が側板側に向いているか確認してください。)
- ・天板に取付けてあるミニフィックスケーシングを+ドライバー又は六角ドライバーで図のように締め付けてください。

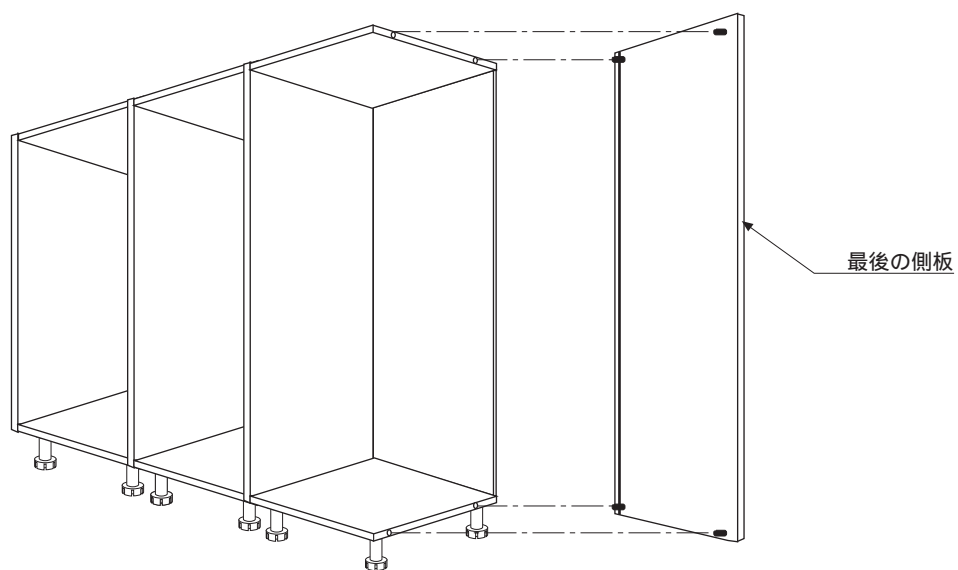


- ・連結側板に取付けたミニフィックスボルトを、底板・天板の側面木口にあけてある穴に合わせてしっかりと差し込んでください。
- ・底板・天板に取付けてあるミニフィックスケーシングを+ドライバー又は六角ドライバーで締め付けてください。



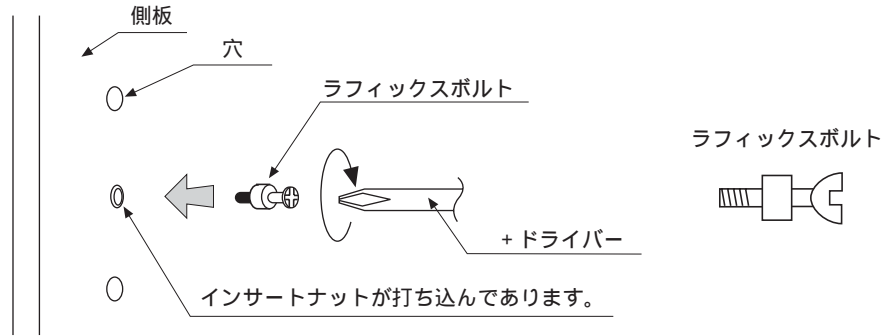
収納ユニット本体の組立て 5

- ・ P24 ~ P27の施工を繰り返し行うことによりユニットの連結をしてください。
- ・ 最後の側板は最初の側板と同様に側板の片面のみ穴があいています。

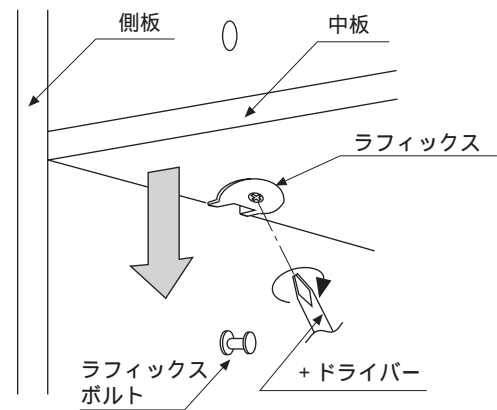
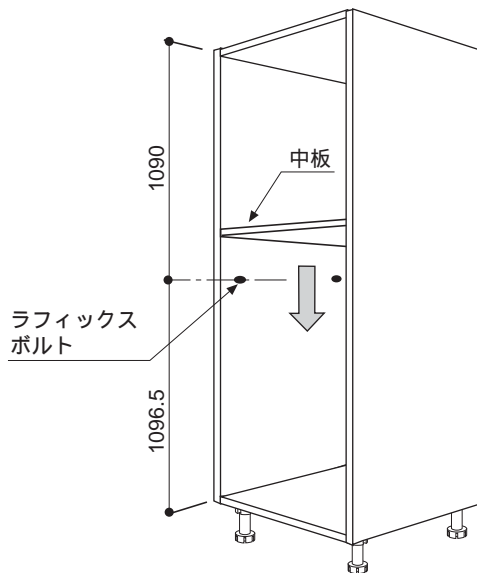
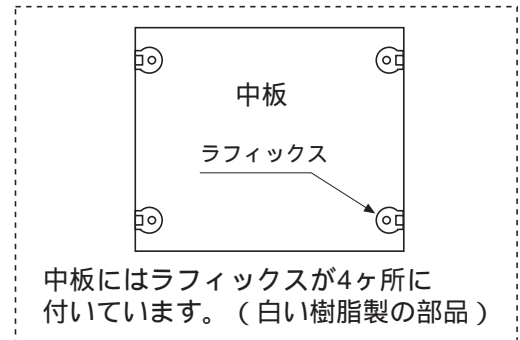


中板の取付け

- 側板の中板取付け指定位置にラフィックスボルトを取付けます。取付け位置にはインサートナットが打ち込んであります。

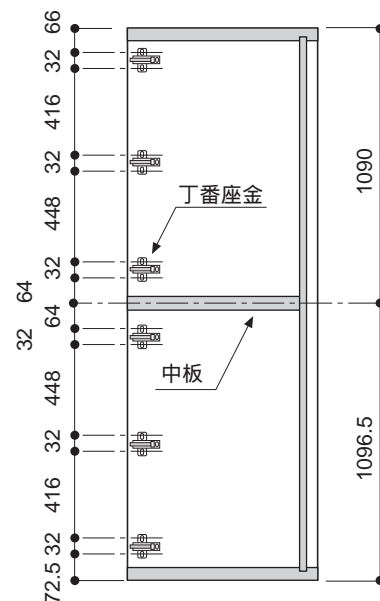
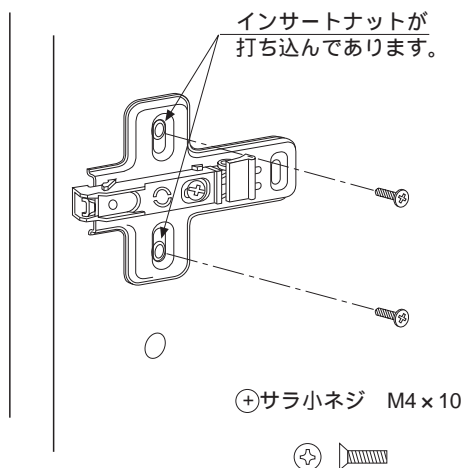


- 側板に取付けたラフィックスボルトに、中板のラフィックスの穴を合わせて落とし込んでください。
- ラフィックスのネジを+ドライバーでしっかりと締め付けて固定してください。



丁番座金の取付け

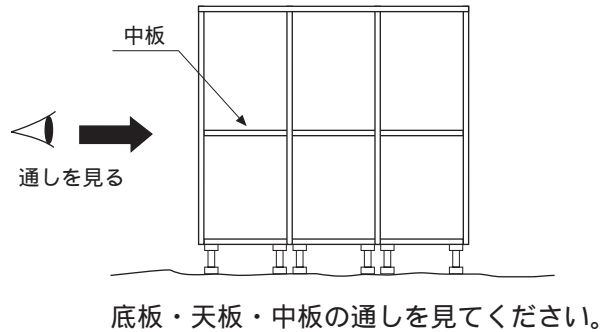
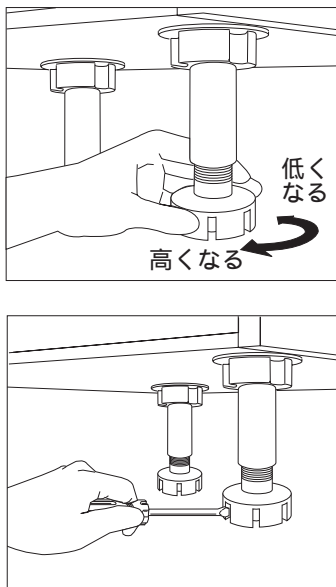
- 取付けは、トルク9kgf以下で+ドライバーを使用して行ってください。
- 右図の位置に丁番座金を取付けます。取付け位置にはインサートナットが打ち込んであります。



収納ユニット本体の調整・キャップ類の取付け

アジャスターの調整方法

- ・手やドライバーを使いユニットの高さや水平を調整してください。
調整範囲 - 0 ~ + 15 mm

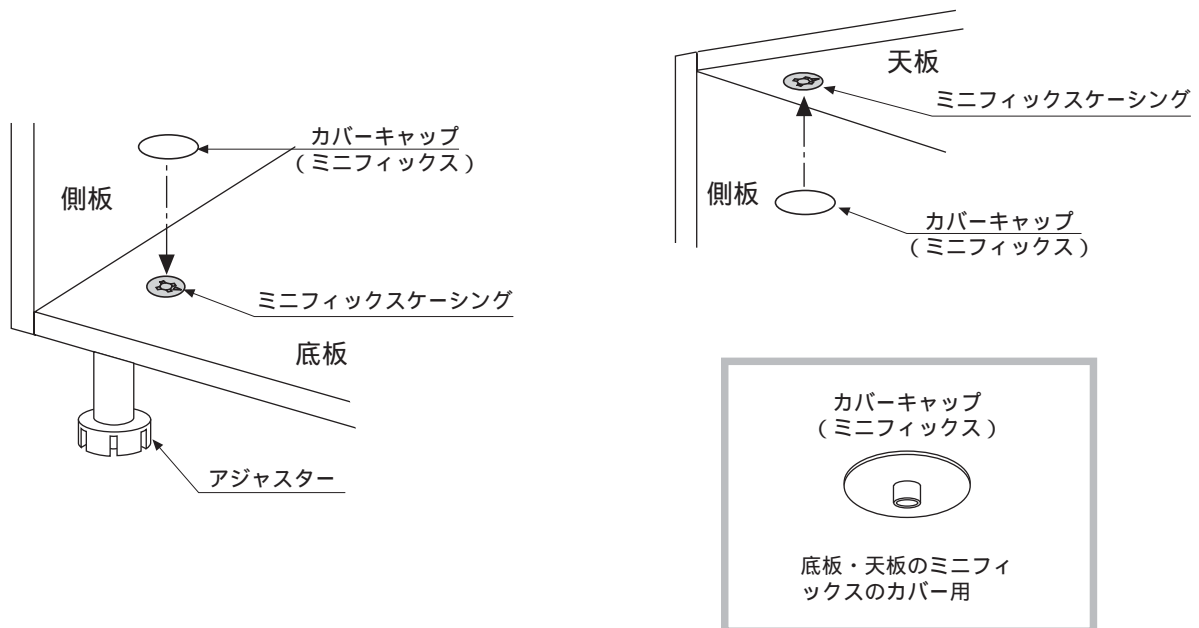


ユニットのレベル出しの方法

- ・取付けスペースの床面で一番高い場所を探して、その床面から1メートル高さを計り、墨を打ちます。側板後側の下端から900mmの所に印を付けます。レベル墨にその印を合わせて側板後側を調整し、立て起こしを確認してから側板前側を調整しユニットを組立てていきます。

キャップ類の取付け

- ・ユニットの調整が終了した後、下記のキャップ類を取付けてください。



収納ユニット本体の固定



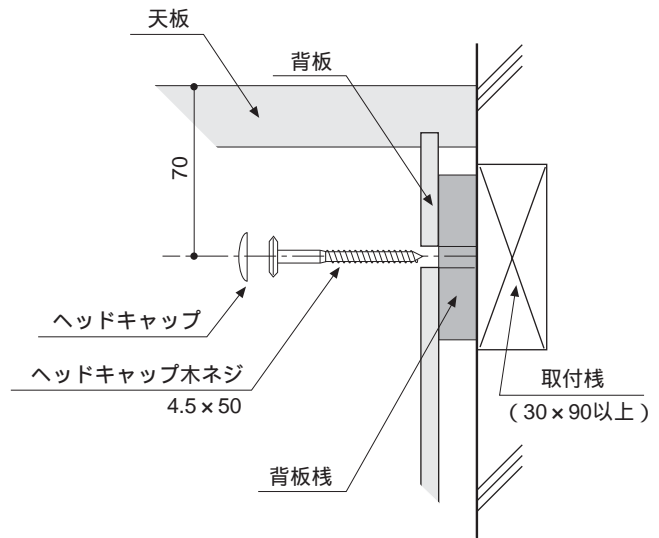
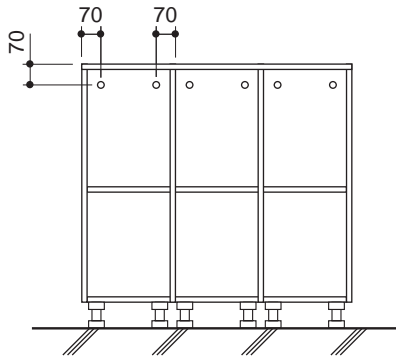
警告

収納ユニットの据付けは建築壁の構造を確かめて正しく固定してください。

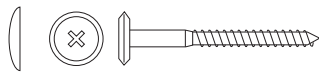


据付けを誤ると、転倒してケガをする恐れがあります。

- ・ユニット内側から図に示す位置に下穴 $\phi 4.6 \sim \phi 5.0$ をあけ、ヘッドキャップ木ネジ 4.5×50 で壁面に固定してください。

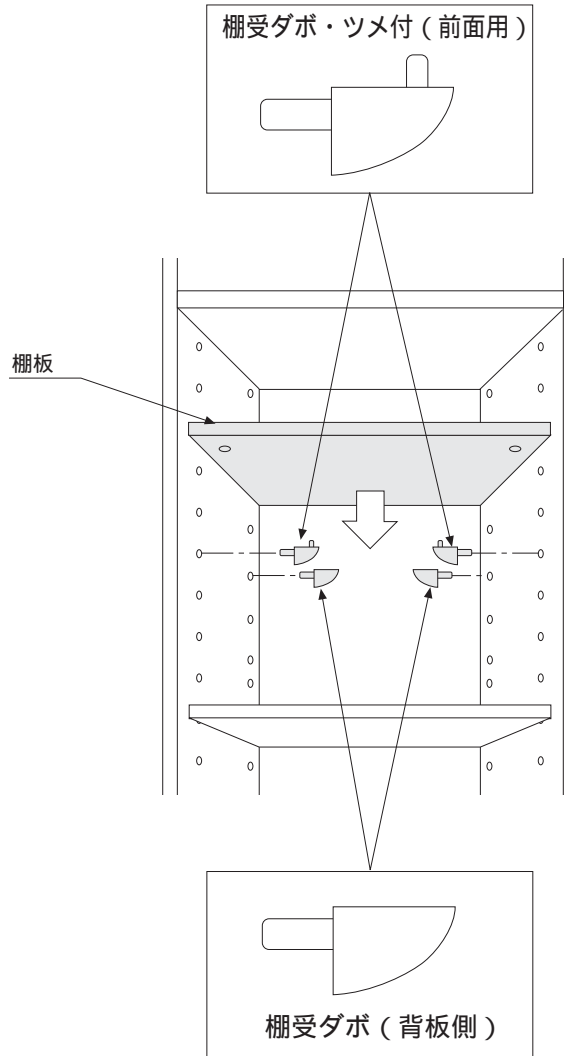


ヘッドキャップ木ネジ 4.5 x 50



棚板の取付け

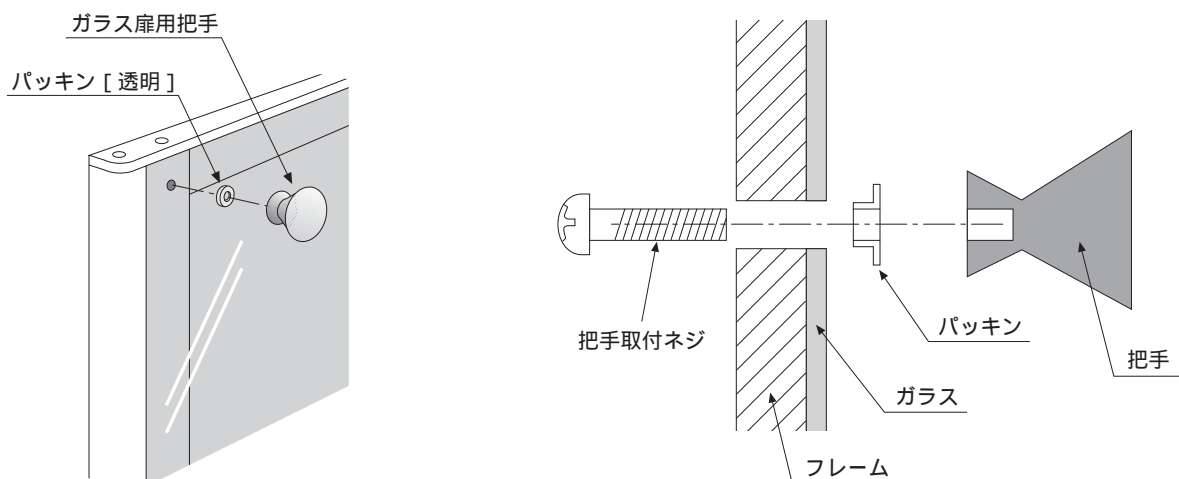
- ・ 棚板は、ユニットをすべて組立てた後にセットしてください。
- ・ 側板の任意の穴位置に棚受ダボ（色：アイボリー）を差し込んでください。
取付け詳細は下図のように前面にツメ付きダボを差し込んで背板側はツメ無しを差し込んでください。
- ・ 棚板を棚受ダボに乗せてください。
- ・ 棚板は自由に移動できますので使用用途に合わせてお使いください。



とって

ガラス扉の把手の取付け

- ・ ガラス扉の把手を取付ける場合は、パッキン【透明】を使用します。



丁番の取付け



工事完了後は、扉のがたつきや丁番のゆるみの無いことを必ず確認してください。

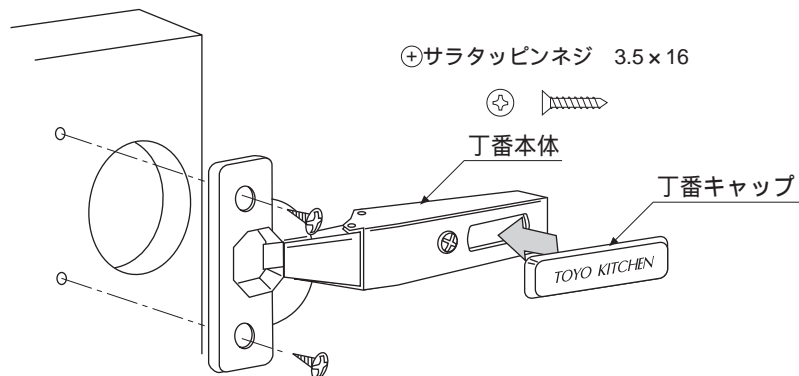


使用中に扉が落下して、ケガをする恐れがあります。

スライド丁番の取付け

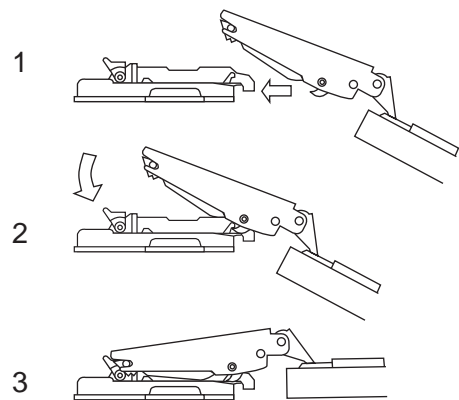
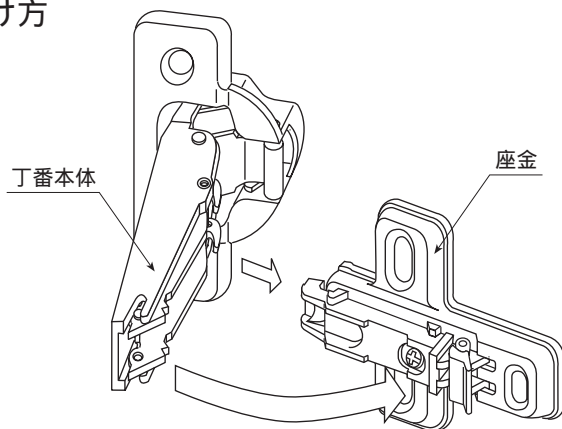
取付けは、トルク9kgf以下で+ドライバーを使用してください。

- ・丁番本体を扉の下穴に合わせ、⊕サラタッピンネジ3.5×16にて取付けてください。
- ・丁番を取付けた後、丁番キャップを取付けてください。



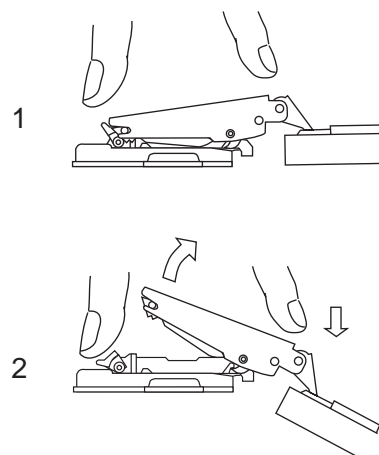
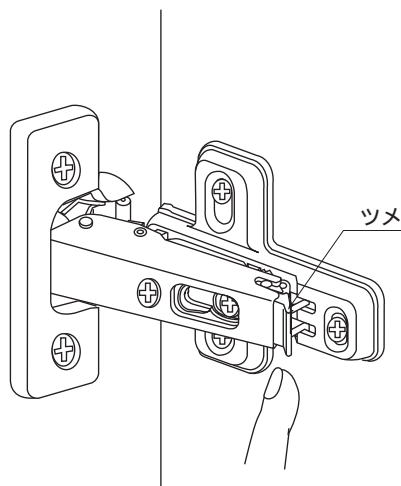
スライド丁番の着脱

取付け方



- ・上図に従って丁番本体を座金に取付けます。

外し方



- ・丁番を外す場合は本体後部にある「ツメ」を押してください。

扉（丁番）・引出し前板の調整方法

扉（丁番）の調整方法

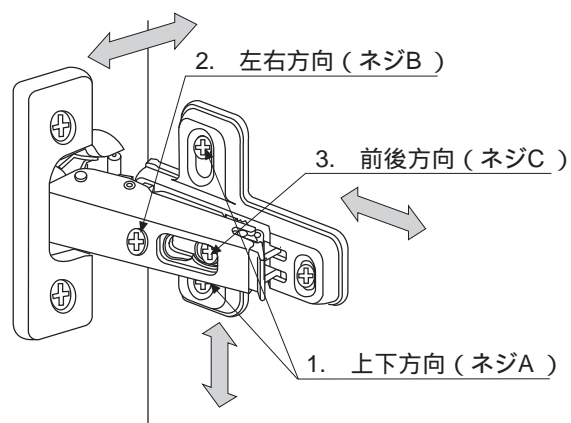
・調整は、トルク9kgf以下で+ドライバーを使用して行ってください。

・調整を行う場合、1. 上下方向 2. 左右方向 3. 前後方向の順番で行ってください。

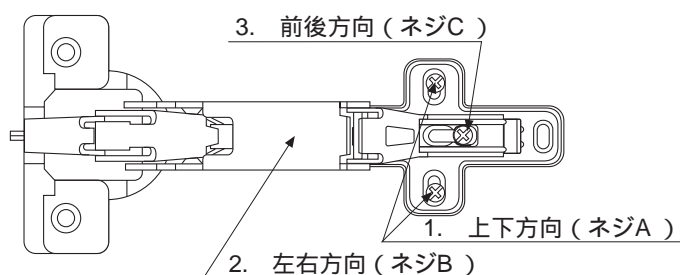
1. 上下方向
- ・座金のネジAをゆるめ上下の位置を定め固定します。
2. 左右方向
- ・ネジBで調整します。

3. 前後方向
前後方向は基本的には動かしません。

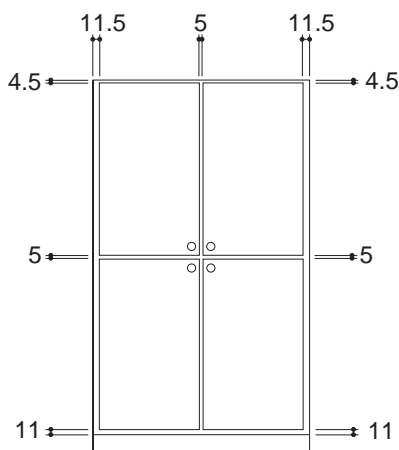
スライド丁番165°半カブセタイプの調整は扉を90°開いた状態で行います。



(スライド丁番165°半カブセタイプ)



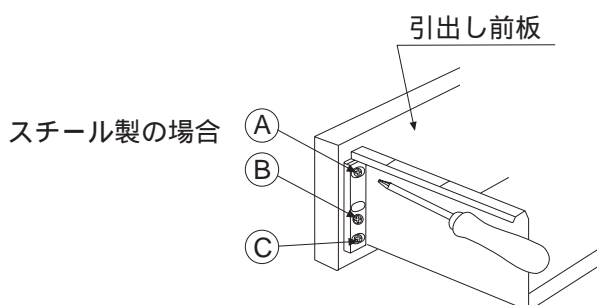
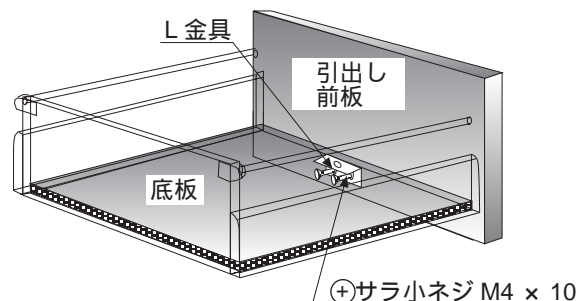
・目地を下図の寸法に合わせ調整してください。



引出し前板の調整方法

・引出しシンクユニットの引出し前板の調整を行う場合は、最初に底板裏面についているL金具の引出し前板側の取付ネジ(⊕サラ小ネジ M4 × 10)をゆるめておきます。

全ての調整が終わりましたら、ネジを締めて引出し前板を固定してください。

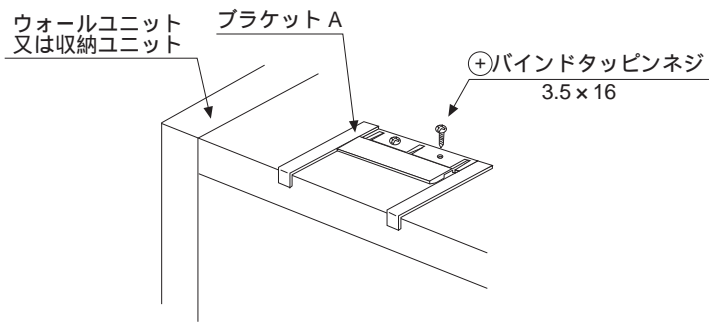


← ● → 左右の調整
①、③のネジをゆるめて調整します。

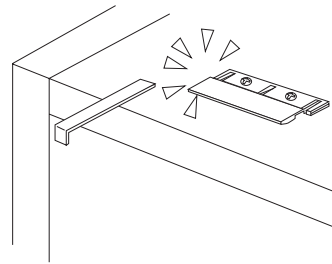
↓ ● ↑ 上下の調整
①、③のネジをゆるめます。次に②のネジをゆるめて上下を調整します。

天井幕板の取付け

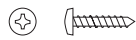
- 1 ウォールユニット又は収納ユニットの天板に、ブラケットAを⊕バインドタッピンネジ3.5×16で固定します。



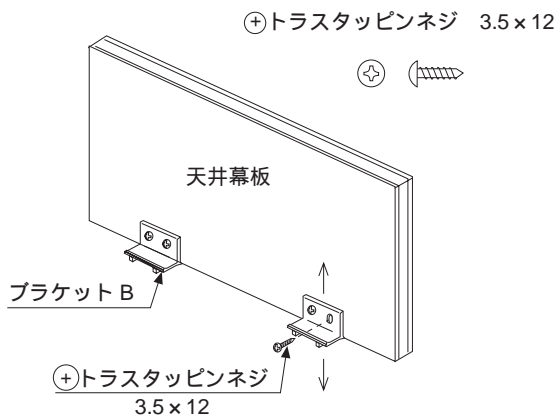
- 2 ブラケットAを取付け終了後、ブラケットAのツメをすべて折って取ります。



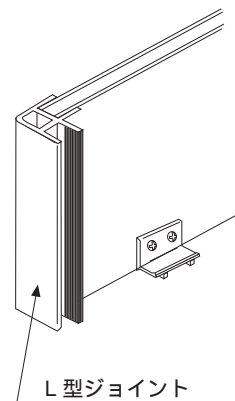
⊕バインドタッピンネジ 3.5×16



- 3 天井幕板の下面を基準として、ブラケットBを任意の位置に⊕トラスタッピンネジ3.5×12にて固定します。

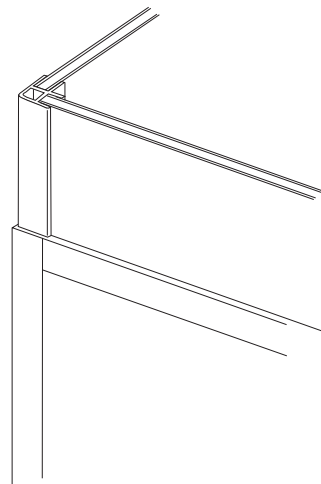
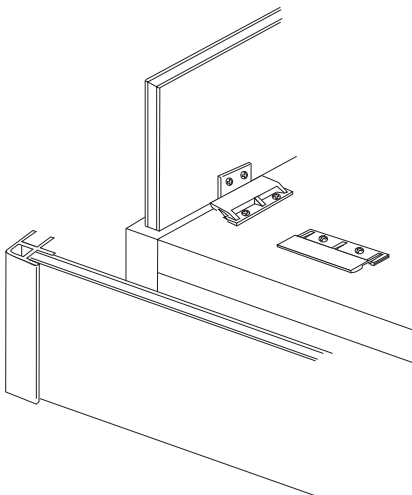


- 4 ブラケットB取付け終了後の天井幕板にL型ジョイントをはめ込みます。

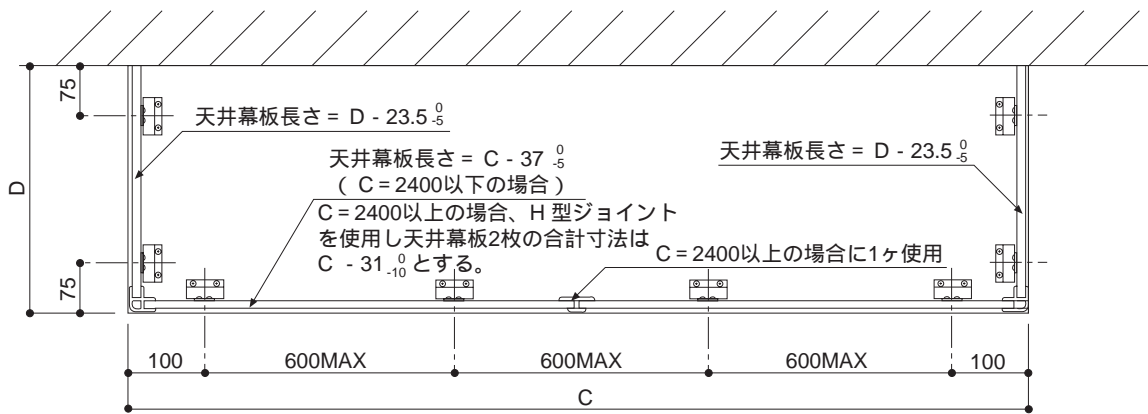
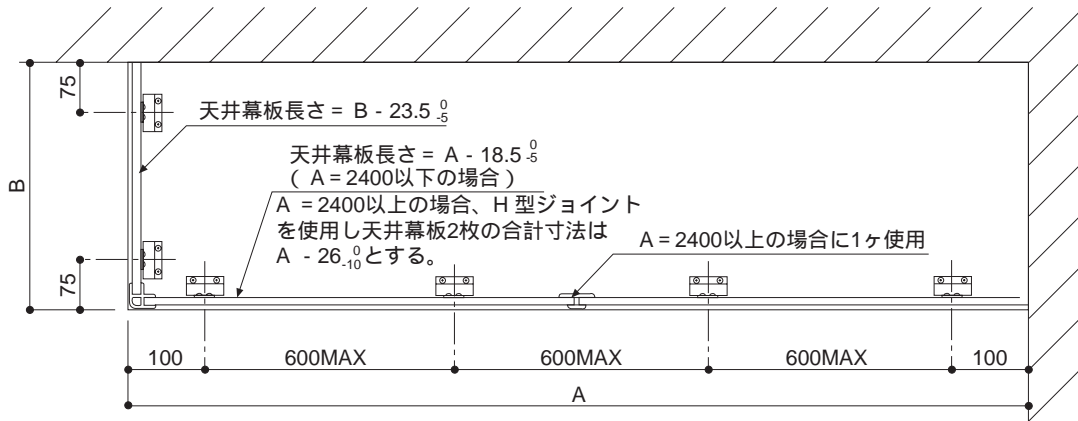


- 5 天井幕板をウォールユニット又は、収納ユニットに取付けます。

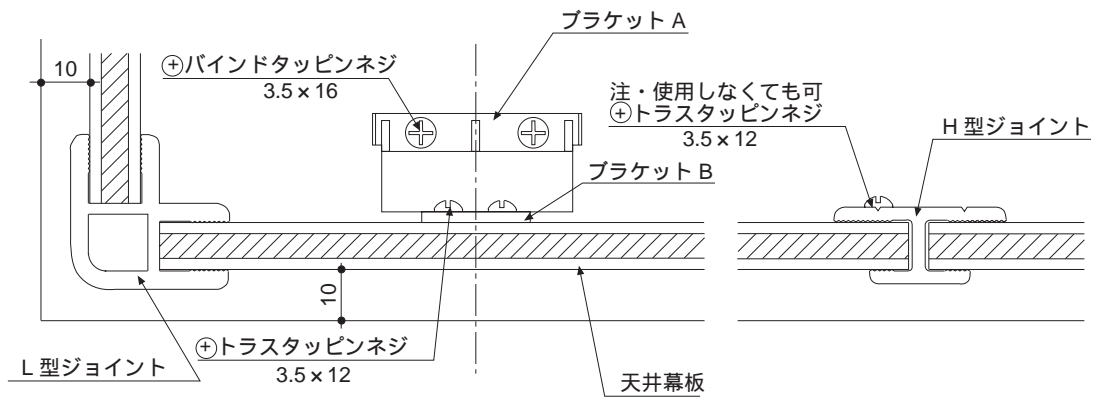
- 6 完成。



天井幕板の納まり (上面図)



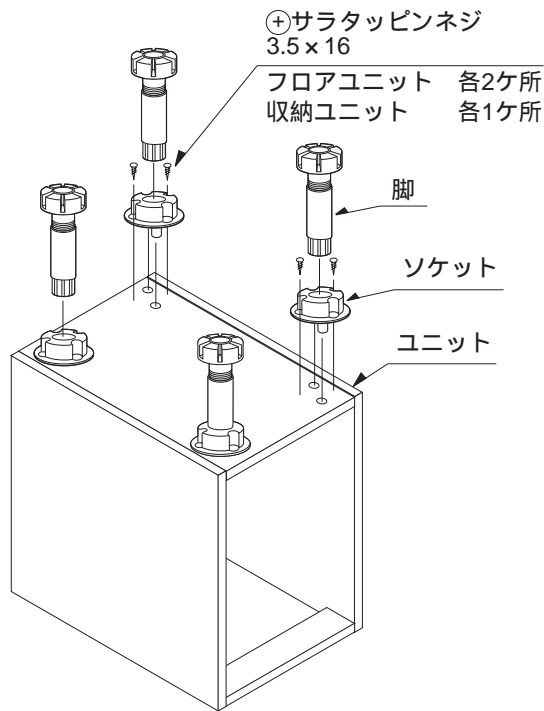
納まり詳細図



アジャスター、ケコミ板の取付け

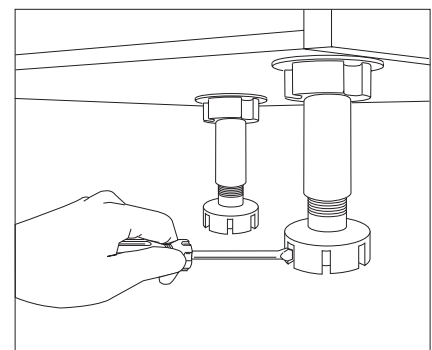
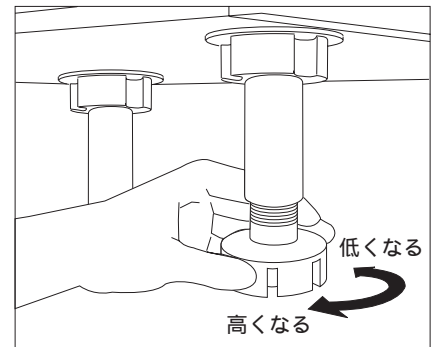
アジャスターの取付け

- ・ユニット底板の取付け穴にソケットをはめ込み、⊕サラタッピンネジ3.5×16で底板に固定してください。
- ・次に脚をソケットの取付け穴にはめ込んでください。



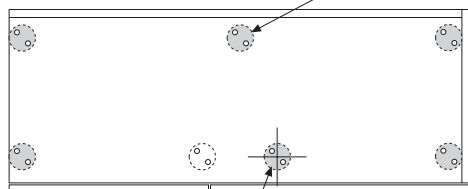
- ・ユニットを元に戻し、専用工具又は、手やドライバーを使いユニットの高さを調整し、水平を出します。

調整範囲 - 0 ~ +15 mm



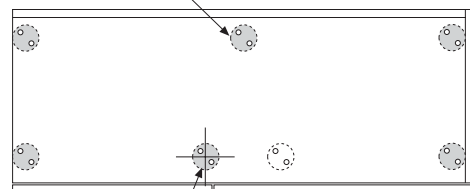
アジャスターの取付け位置

コーナーユニット間口1050
フロアコーナーユニットにはありません



フロアユニット奥行き450
収納ユニット奥行き430

右側の位置にアジャスターを取付けます。



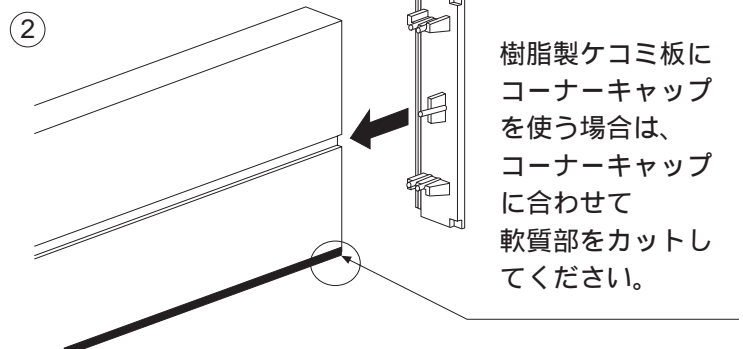
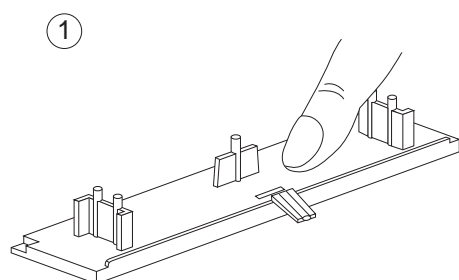
フロアユニット奥行き600
収納ユニット奥行き580

左側の位置にアジャスターを取付けます。

ケコミ板の取付け

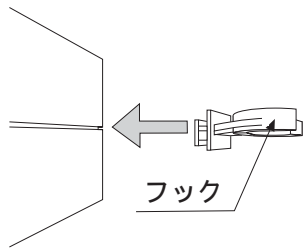
- ・ケコミ板にエンドキャップをはめ込みます。

- ① ツメを折ってカッターでバリを取ってください。
- ② ケコミ板にはめ込んでください。

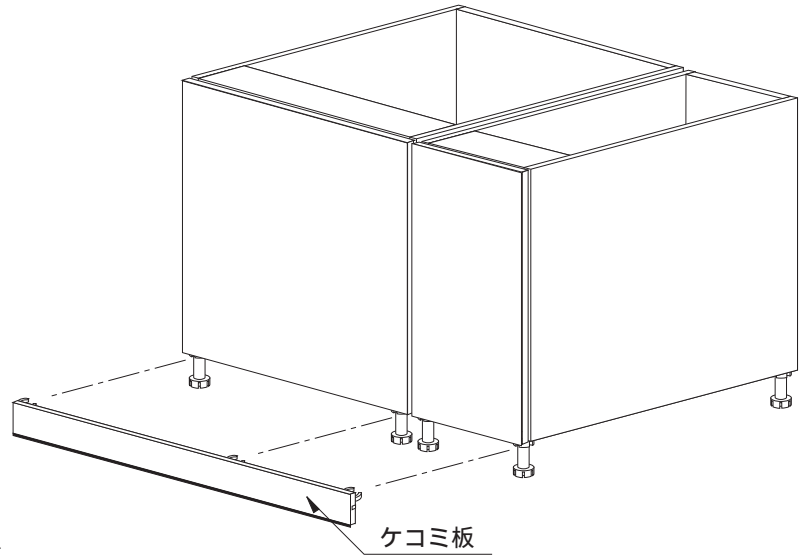
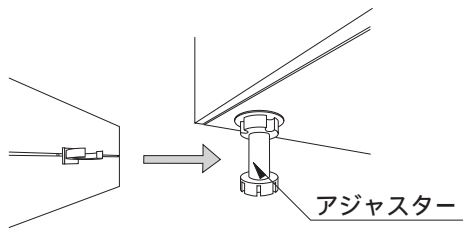


樹脂製ケコミ板に
コーナーキャップ
を使う場合は、
コーナーキャップ
に合わせて
軟質部をカットし
てください。

- ・アジャスターの位置にフックを合わせて取付けます。
フックの間隔は1050mm以下になるように取付けてください。

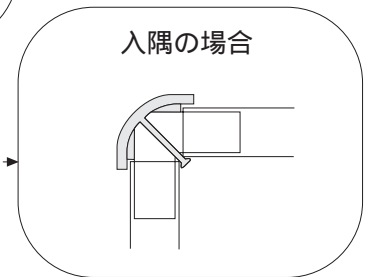
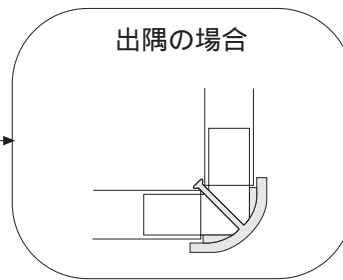
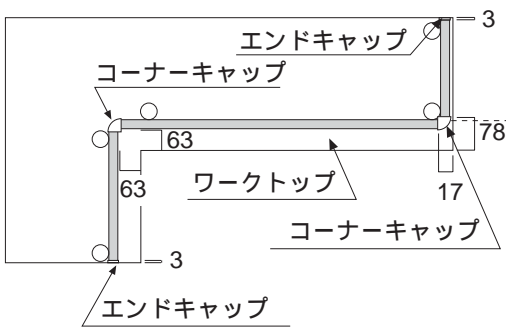


- ・フックをアジャスターにはめ込みます。

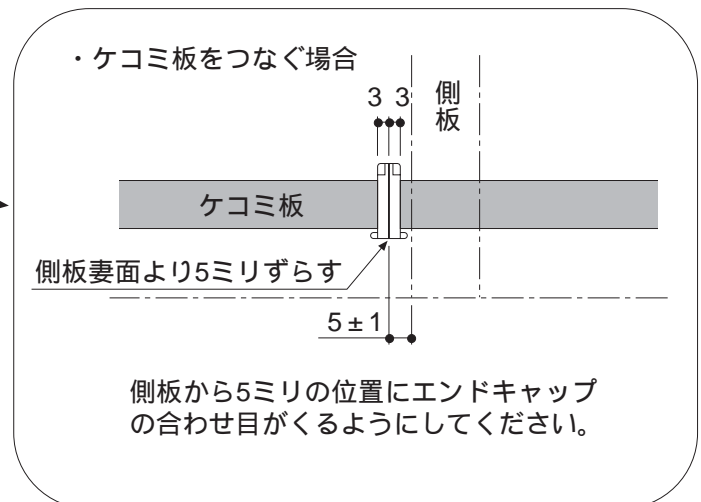
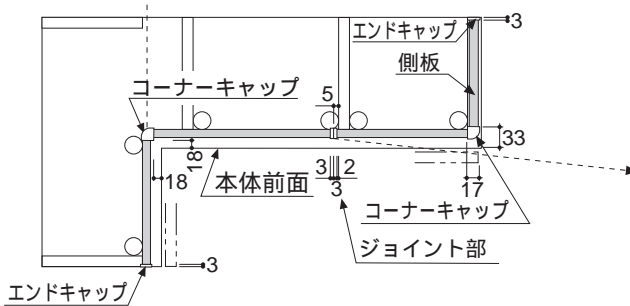


[フロアユニット用]

・コーナーキャップの使い方



[収納ユニット用]



据付け後の点検・清掃・養生

- ・「安全上のご注意」および説明書の内容通り据付けられているかを点検し、水漏れ等異常の無いことを確かめてください。
- ・表面の汚れ、ホコリを拭き取りながら、傷等の損傷が無いかを調べてください。
- ・ワークトップや扉等損傷する恐れのある部分は、必ず梱包材等を利用して養生してください。
- ・シンク・ガス機器等破損する恐れのある部分は、ビニール等で中が見えるよう養生してください。
- ・養生に使うテープは、粘着力の弱いマスキングテープ等を使用してください。

商 品 名	システムキッチン【foo】 ヴィーナ[VPM*] アイ[VMK1・4・5] ティー[VMI1] 以外
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも F
表 示 ル ー ル	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による
製 造 番 号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	化粧パネル(PB) F MDF F 合板 F 接着剤 F

商 品 名	システムキッチン【foo】 ヴィーナ[VPM*] アイ[VMK1・4・5] ティー[VMI1]
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分 F 下地部分 F
表 示 ル ー ル	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による
製 造 番 号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	内装仕上げ部分 F 扉パネル(PB) F 化粧パネル(PB) F MDF F 合板 F 接着剤 F 下地部分 F 化粧パネル(PB) F 合板 F 接着剤 F

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

トーヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYOKITCHEN」でオプションパーツをご購入頂けます。
詳しくは<http://www.toyokitchen.co.jp>をご覧ください。

トーヨーキッチン&リビング株式会社

〒501-3295 岐阜県関市下有知6315-1
電話 0575(22)1234(代)



P9WP-TRS86
03.12